

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート

【平成29年度（下半期）】

1	連携分野	・・・・・・・・・・	P. 2
2	農業分野	・・・・・・・・・・	P.16
3	林業分野	・・・・・・・・・・	P.25
4	水産業分野	・・・・・・・・・・	P.31
5	商工業分野	・・・・・・・・・・	P.35
6	観光分野	・・・・・・・・・・	P.39

平成30年度「産業振興計画」関連予算額

連 携 分 野	180,038千円
農 業 分 野	371,197千円
林 業 分 野	205,141千円
水 産 業 分 野	24,779千円
商 工 業 分 野	1,123,077千円
観 光 分 野	85,435千円
産業振興推進総合支援 事業費補助金	8,000千円
計	1,997,667千円

総額 約20億円

分野 連携テーマ 施策 アクションプラン 主な内容	平成29年度の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算 (取り組み) 概要
連携分野					
1 地産地消の促進					
1. 地域産品の利用と販売促進					
【連携AP1】					
(1) 地域産品の利用と販売促進					
★地元消費拡大フェアの開催 《農業12、林業20、水産13、商工4》 ◎地元農畜産物の公共施設での利用促進 《農業12・16》 ★地元農畜産物の利用促進に向けた連携ネットワーク形成 《農業12》	○農産物ブランド化事業 (しまんと農法米、40010日プロジェクト) (実施主体: 高知はた農業協同組合) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 7月 農産物ブランド化事業補助金交付決定 (補助金額381千円) 事業内容: 2合米袋の作成、シーラー導入、販促活動 8月 機関誌にしまんと農法米の記事を掲載 ホームページにしまんと農法米ページを立上げ 8月～ノベルティマーケティング実施 (2合) 店舗及び観光客への配布、イベントや商談会でのPR ○第7回西土佐産業祭 (来客者1,500人) 11月 農林水産物の品評会・即売会、加工品販売等 ○四万十うまいもの商店街 (来客者3,500人) 11月 西土佐地域を中心にうまいものを一堂に集め販売 ○しまんと農法米の推進 (40010日プロジェクト) 地方創生推進交付金を活用 5月 知的財産専門家派遣事業 7月 40010日プロジェクトのロゴマーク商標出願 8月 しまんと農法米パッケージ発表 (取材: 3社) 40010日プロジェクトロゴマーク発表 (取材: 3社) 新聞記事掲載、プロジェクトパンフレット作成 12月 知的財産セミナーでの活用 3月 商標登録(予定) ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業 (道の駅「よって西土佐」関連) 地方創生推進交付金を活用 ・旬の産品フェアを毎月開催 4月 よっておきゃく 5月 新たまつり 6月 父の日フェア 7月 とうもろこしまつり 8月 41℃フェア、なすふえず 9月 栗×カニ合戦 10月 新米まつり 11月 ゆず祭り 12月 冬の感謝祭 1月 原木しいたけ祭り 2月 おでん鍋まつり 3月 予定 ・産地化促進講習会 7月、12月 栽培講習会 1月～2月 加工品開発ワークショップ開催 (3回) 2月 他直売所施設視察研修 (2回) ○西土佐地域地産地消推進協議会 5月 協議会、栽培講習会開催 8月 レンタルハウス巡回指導 11月 協議会 12月 レンタルハウス巡回指導及び報告会、栽培講習会 1月 果樹剪定講習会 (雪のため中止) 2月 生産者視察研修	四万十市 (農林水産課・観光商工課・産業建設課) 関係団体・組織 事業者 生産者	◆地域産品への関心と利用意識が高まっている ◆産業祭来場者数 H25: 2,000人 → H31: 20,000人 H27: 12,500人 H28: - H29: 1,500人 ◆学校給食への市内農産物(野菜類)の供給率 H26: 64.8% → H31: -% ※目標値は、中学校給食の開始、実施状況により後年度において設定 H27: 62.6% H28: 43.3%	計画の追加・修正	○西土佐地域地産地消推進協議会の開催 - ・公共施設への食材提供、生産者への栽培講習等について協議し年間計画を策定 ○環境にやさしい農業のための研究会 - ・学校給食への農産物供給 ・公家行列(物産市)、枚方市・四万十市都市交流物産展等へ出展PR ・商談会への出展 【各分野共通】 ○四万十市産業祭の開催 * 【3,000千円】 四万十市の産業の地力(=チカラ)を広く市内外の人に知ってもらうため、農・林・水産・商工・観光分野が一堂に会し、様々な地域資源を活かした「もの・ひと・こと」の魅力を発信する。 【農業分野】 ○農産物ブランド化事業(四万十農法米普及促進) * 【240千円】 (事業主体: JA高知はた) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 ・食味コンテスト出展経費 ・しまんと農法米リーフレット作成 【農業分野】 ○農産物ブランド化事業(四万十農法米普及促進) * 【752千円】 地方創生推進交付金を活用 ・東京、大阪等での商談会への参加 ・プロジェクトサイト作成経費 ・40010日プロジェクトPRポスター 【農業・商工業分野と共通】 ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連) * 【20,713千円】 (実施主体: (株)西土佐ふるさと市) 地方創生推進交付金を活用 ・産地化促進 ・商品の開発 ・外商活動 ・情報発信

分野 連携テーマ 施策 アクションプラン 主要内容	平成29年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算 (取り組み) 概要						
						連携分野					
						◎有機農産物の流通促進 《農業16》[再:AP8]	○環境にやさしい農業のための研究会 4月～ 学校給食への農産物供給 5月 公家行列(物産市)へ出展し、PR				
						○公共建築物の木造化・木質化の促進《林業18》 ◎木造住宅建築への支援 《林業19》 ★木材流通ネットワークの構築とコーディネイト組織の設立 《林業17、林業19》 ◎木造化、木質化への情報発信、普及・啓発の強化《林業20》 ◎林地残材等の搬出の促進 《林業21》 ◎木質バイオマスボイラー等の普及促進《林業22》	○H29建築計画 ・東山小学校区学童保育施設(木造)28繰越 8月完成 48.57㎡ ・八束地区防災拠点基地・八束保育園(合築) 建築中 13.15㎡ ・かわらっこバンガロー 3月完成 25.2㎡ ○幡多流域林業活性化センター 7月 通常総会ほか ・会員:26団体(素材生産・加工・流通事業者、建築団体、関係行政機関) ・林業生産性の向上、林業技術者の確保・育成、製材・加工・流通事業者、利用者(建築等)間の連携促進 ・各素材生産者の目標値設定(幡多地域の原木生産量把握) ・架線(センイロープ)集材研修 ○市産材利用促進事業 申請件数:19件(9月現在)補助金額上限到達のため受付終了追加内示有り(申請締切3月15日) ○「四万十ヒノキの家」での見学・宿泊体験の実施 宿泊者 46組 延べ239名宿泊(12月末現在) 見学者 170名 ○フェア等への参加 10月 高知もくもくランド2017秋まつり (主催:高知県木材普及推進協会、高知県) (出店:四万十ヒノキブランド化推進協議会) 11月 「幡多山もりフェス2017」 (主催:幡多山もりフェス実行委員会) (出店:榊かわらっこ) ○林地残材の搬出促進 バイオマス証明書発行15件(うち公共事業関係10件) 12月末:375.84㎡	◆市産材利用促進事業の着工件数 → H31:30戸/年 H27:34戸/年 H28:30戸/年	○H30建築計画 ・川崎保育所(新築) 【林業分野】 ○四万十ヒノキブランド化推進協議会負担金 * 【200千円】 ・高知県木造住宅フェアへ出展PR 予定 【林業分野】 ○幡多流域林業活性化センター負担金 * 【85千円】 ・林業生産性の向上、林業技術者の確保・育成、製材・加工・流通事業者、利用者(建築等)間の連携促進 会員:26団体 (素材生産・加工・流通事業者、建築団体、関係行政機関) 【林業分野】 ○市産材利用促進事業(補助金) * 【30,000千円】 ・年間利用件数見込み:30件 【林業分野】 ○宿泊体験型モデルハウス管理費 * 【363千円】 ・「四万十ヒノキの家」での見学・宿泊体験の実施 ○フェア等の開催 ・「幡多山もりフェス2018」開催 予定 (主催:幡多地域7森林組合が中心の実行委員会) 「四万十ヒノキの家」出店・PR ○個人の皆伐を経営計画に組み込み林地残材の有効利用を促進 ○林地残材の搬出促進 ・バイオマス証明書発行		
◎漁協の販売機能の強化 《水産12》[再:AP8]	○地産外商活動 9月 北の恵みうまいものマルシェ2017(旭川市)に鮎市場出店 10月 フェスティバル土佐ふるさと祭り 鮎市場出店 11月 枚方市友好都市物産展 鮎市場出店 12月 高知大丸冬の味覚祭り 鮎市場出店 1月 おさかなまつり 鮎市場出店 3月 高知大丸春の味覚祭り 鮎市場出店 ○地域おこし協力隊 11月～ あゆ市場拠点に1名採用 四万十川水産物を活用した商品開発 四万十川の流木を使った加工品開発		◆漁業協同組合の販売機能 H31:強化	【農業・水産業・商工業分野と共通】 ○地産外商促進事業(西土佐地域出展関係) * 【463千円】 ・ふるさとまつり ・枚方物産展 ・大丸フェア春、冬 【水産分野】 ○地域おこし協力隊経費 * 【3,756千円】 ・あゆ市場拠点 1名配置 【水産分野】 ○荷捌き場の屋根修繕(塗装)補助金 * 【559千円】 (事業主体:下田漁業協同組合)							

分野		平成29年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算 (取り組み) 概要
連携テーマ						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
連携分野						
【連携AP2】 (2) 地域産品の販売拠点づくり						
<p>★地産地消認証店制度 《農業12、水産13、商工4・6》</p> <p>[再:AP10]</p> <p>◎市内量販店等を拠点とした販路拡大 《農業12》</p> <p>★土豫銀行跡地活用による拠点整備 《商工10》[再:AP8]</p> <p>○物産館サンリバー四万十との連携 《商工10》</p> <p>◎いちじょこさん市場 (食の交流拠点) の機能強化 《商工10》</p> <p>★東下町会館の改築による 拠点機能の強化 《商工10》</p> <p>○直販所の拠点機能の強化 《農業13、商工18》</p> <p>★道の駅「よって西土佐」の整備・機能強化 《農業13、商工10・18》 [再:AP8]</p> <p>◎拠点ビジネスの推進 《商工18》</p>	<p>○商店街活性化モデル事業 (900千円) 事業主体: 中村商工会議所 5月 公家行列及び地域産品の販売PRを支援</p> <p>○旧土豫銀行跡地開発事業 ・公募型プロポーザルにより事業者決定 四万十にぎわい商店株式会社 ・基本設計補助 2,108千円 ・用地測量業務 417千円 ・アドバイザー招聘 210千円</p> <p>○よさこい四万十2017 9月 市内6ヶ所 (中村駅、不破八幡宮、一条通、東下町、天神橋、中村病院) ※台風のため中止</p> <p>○まちづくり四万十株主総会 6月 いちじょこさん市場の今後の事業展開等について検討 ・地元食材、旬の食材を活用した標品の製造、加工販売 ・製造惣菜、弁当等の販売力強化 ・地域の各種イベントに対する販売促進の実施 ・サービス向上及び交流スペースの活用</p> <p>○東下町会館改築検討会の設立 (実施主体: 東下町商店街振興組合) ・基本設計策定 9月～ 検討委員会開催 (全4回) 10月 先進地視察の実施 (広島県)</p> <p>○農林水産物直販所「安心係」養成講習会 7月 養成講習会へ参加 情報発信、農産物管理、農薬適正使用、表示、衛生管理講習</p> <p>【再掲】 ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業 (道の駅「よって西土佐」関連) ・クラウドファンディング実施 目的: 清流四万十川、天然鮎を価値を取り戻し後世へつなげる。 内容: 世界へ通用する四万十川の天然鮎を使った商品開発 目標設定金額: 1,000千円</p> <p>○ぶしゅかん普及推進事業 (実施主体: 四万十ぶしゅかん株式会社) 【四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用】 5月～12月 ぶしゅかん集荷場施設整備 (8月、9月一部整備完了) (洗浄ライン、搾汁機、濾過機、真空機等) 事業完了日: 平成29年12月15日</p>	<p>四万十市 (農林水産課・観光商工課・産業建設課) 関係団体・組織 事業者 生産者</p>	<p>◆市内の様々な販売拠点において、地域産品の利用、販売が促進されている。</p> <p>◆商店街通行者数 (平日) H22～H26平均 4,725人/日 → H31:4,845人/日 H27:4,591人/日 H28:4,676人/日 H29:5,878人/日</p> <p>◆農林水産物等直販所販売額 H25:11億5,600万円 → H31:13億円 H26:11億8,900万円 H27:12億3,600万円 H28:13億0,800万円</p> <p>◆道の駅「よって西土佐」入込客数 H31:13万人 H28:17.9万人 H29:16万人 (見込み)</p>	<p>【計画の変更】 ○《商工業分野AP10》「土豫銀行跡地活用による拠点整備」の取組み内容に賑わい拠点施設の整備計画スケジュールを追加</p> <p>【計画の変更】 ○《商工分野AP10》の取組みに新たに「新文化複合施設を中心とするまちの賑わいづくり」を追加</p> <p>【計画の変更】 ○《農業分野AP14、商工業分野AP18》の取組みに新たに「新食肉センターを核とした地域産業の振興」を追加</p>	<p>【商工業分野】 ○商店街活性化モデル事業 * 【900千円】 (事業主体: 中村商工会議所) ・公家行列及び地域産品の販売PRを支援</p> <p>【商工業分野】 ○旧土豫銀行跡地開発事業 * 【7,423千円】 事業主体: 四万十にぎわい商店株式会社 ・実施設計補助 ・先進地視察 (いきいき唐津株 佐賀県唐津市)</p> <p>【商工業分野】 ○複合施設整備推進 * 【8,030千円】 複合施設整備検討委員会の設置 複合施設整備基本計画策定支援業務委託 (6,000千円)</p> <p>【農業・商工業分野と共通】 ○新食肉センター整備推進 (特別会計) * 【4,859千円】 新食肉センター整備検討委員会の設置 新食肉センター建替え基本計画策定委託業務 (4,536千円)</p> <p>【農業・商工業分野と共通】 ○農林水産物直販所「安心係」養成講習会への参加 ・情報発信、農産物管理、農薬適正使用、食品表示、衛生管理講習</p> <p>【再掲: 農業・商工業分野共通】 ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業 (道の駅「よって西土佐」関連) * 【20,713千円】 (実施主体: (株)西土佐ふるさと市) 【地方創生推進交付金を活用】 ・産地化促進 ・商品の開発 ・外商活動 ・情報発信</p> <p>○地域おこし協力隊経費 * 【6,523千円】 ・道の駅2名配置</p> <p>○地域おこし協力隊起業補助金 (4名分) * 【4,000千円】 ・地域おこし協力隊修了者の起業への支援</p>	

分野		平成29年度の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算 (取り組み) 概要
連携テーマ						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
連携分野						
		<p>○四万十市特産品販売拡大事業 (実施主体:しまんと百笑かんぱに株式会社) 四万十市産振総合補助金を活用</p> <p>8月 県産業振興推進総合支援事業採択審査会 9月 市産業振興推進総合支援事業採択審査会 9月 県、市へ補助金交付申請 10月～ 食品加工場建設、ボトルシーラー整備 県版HACCP第3ステージ申請準備開始 3月下旬 食品加工場完成予定</p> <p>○地域産品を活用したペット関連事業 (実施主体:WAN LIFE) 四万十市産振総合補助金を活用</p> <p>6月 新商品(ペット用スープ)作成のための厨房整備</p> <p>○集落活動センター事業 (実施主体:大宮集落活動センター) 4月～ 地域資源や特性を活かした産業づくり 軽食・配食サービス、講演会、視察受け等</p> <p>○集落の活かづくり支援事業 (実施主体:四万十のしずく生産組合) 大屋敷地区にて活動中の四万十のしずく生産組合の外販強化のため、温度帯の違う2種類の冷凍庫及び真空パック包装機の購入に対して支援。 6～7月 冷凍庫2台(補助金額742千円) 真空包装機1台(補助金額227千円)</p> <p>○市内量販店で産直コーナーの設置 ・市内農家が独自の取組みでマルナカ(中村一条通店・四万十店)に産直コーナーを設置</p>				
2 地産外商の推進						
1. 商品開発と磨き上げ						
【連携AP3】 (1) 地元農畜産物を使った商品開発						
<p>◎戦略品目のブランド化 《農業14》</p> <p>★40010日プロジェクト 《農業14》</p> <p>○地元農畜産物を使った商品の開発《農業15》</p> <p>◎意欲的な生産者への支援 《農業15》</p>	<p>○ぶしゅかん産地化・普及推進事業 地方創生推進交付金を活用</p> <p>・PR活動 9月 ぶしゅかん青玉キャンペーン 首都圏高級スーパー、ANAフェア、幡多バル西新宿店</p> <p>・生産者支援(産地化促進) 8月、10月 ぶしゅかん集出荷補助 10月～ ぶしゅかん苗木補助 10月～ 鳥獣防護柵設置補助</p> <p>○四万十栗生産・加工・販売促進再生事業 (実施主体:株式会社しまんと美野里) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 9月～ 栗の集出荷、縮間伐、新改植、加工機器整備等</p>	<p>四万十市 (農林水産課・観光商工課・産業建設課)</p> <p>JA高知はた 事業者 生産者</p>	<p>◆四万十ブランドの確立や加工商品開発による高付加価値化が図られ、安定した農業経営につながっている</p> <p>◆ぶしゅかん新植面積 H26:0.9ha → H31:12ha H27:4.9ha、H28:2.8ha H29:9.7ha</p> <p>◆ぶしゅかん生産量 H26:13t → H31:54t H27:16t、H28:22t H29:18t</p> <p>◆ゆず栽培面積 H26:42.5ha → H31:42.5haを維持 H27:42.5ha、H28:42.5ha H29:42.5ha</p>	<p>【再掲:計画の変更】 ○《農業分野AP14、商工業分野AP18》の取組みに新たに「新食肉センターを核とした地域産業の振興」を追加</p>	<p>【農業分野】 ○ぶしゅかん産地化推進事業 * 【3,245千円】 地方創生推進交付金を活用</p> <p>・新規定植(苗代への補助) 1,000本 200a ・有害鳥獣対策用防護柵(設置費補助) 1,500m ・集出荷支援事業(四万十ぶしゅかん生産者組合) ・都市圏の百貨店等でぶしゅかんのブランディングキャンペーンの展開 ・キャンペーン用パンフレット、ポスター作成</p> <p>【農業分野】 ○ぶしゅかん普及推進事業 * 【2,574千円】 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用</p> <p>・TV-CM、サンプルPR費等(四万十ぶしゅかん(株)) ・ぶしゅかんヌーボーキャンペーンイベント開催(四万十ぶしゅかん生産者組合)</p>	

※主な内容:★は新規、◎は拡充、○は継続

分野 連携テーマ 施策 アクションプラン 主要内容	平成29年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算 (取り組み) 概要	
						連携分野
						連携AP4
						(2) 四万十ヒノキ製品の商品力強化
	<p>○栗産地化促進 地方創生推進交付金を活用 2月～ 栗苗木補助 【再掲】</p> <p>○ぶしゅかん普及推進事業 (実施主体: 四万十ぶしゅかん株式会社) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 7月～8月 TV-CM展開 【再掲】</p> <p>○農産物ブランド化事業 (しまんと農法米、40010日プロジェクト) (実施主体: 高知はた農業協同組合) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 7月 農産物ブランド化事業補助金交付決定 (補助金額381千円) 事業内容: 2合米袋の作成、シーラー導入、販促活動 8月 機関誌にしまんと農法米の記事を掲載 ホームページにしまんと農法米ページを立上げ 8月～ノベルティマーケティング実施 (2合) 店舗及び観光客への配布、イベントや商談会でのPR J A店頭配付、ふるさと納税大感謝祭、四万十川ウルトラマソン、 ANAマルシェ、幡多バル、全国担い手サミット、全国川サミット、 J A農畜産物商談会、モンベルイベントフェア 【再掲】</p> <p>○しまんと農法米の推進 (40010日プロジェクト) 地方創生推進交付金を活用 5月 知的財産専門家派遣事業 7月 40100日プロジェクトのロゴマーク商標出願 8月 しまんと農法米パッケージ発表 (取材: 3社) 40010日プロジェクトロゴマーク発表 (取材: 3社) 新聞記事掲載、プロジェクトパンフレット作成 12月 知的財産セミナーでの活用 3月 商標登録(予定) 【再掲】</p> <p>○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業 (道の駅「よって西土佐」関連) 地方創生推進交付金を活用 ・商品開発 青さ塩、ジャム・マーマレード、ドライフルーツ 夏野菜のオイル漬け、鮎のコンフィ 12品目</p> <p>○食の魅力を活かした地域振興事業 (実施主体: 四万十市食文化磨き上げ研究会) 地方創生推進交付金を活用 6月～ 食文化の磨き上げ研究会の開催 (8回) 食文化掘り起こし、郷土料理レシピ研究、 食の冊子づくり 3月 モニター事業の実施 (ANA)</p>		<p>◆ゆず生産量 H26:445t → H31:445tを維持 H27:310t、H28:486t H29:384t</p> <p>◆栗栽培面積 H26:39.5ha → H31:47ha H27:41.76ha H28:43.91ha H29:46.41ha (見込み)</p> <p>◆栗生産量 H26:15.1t → H31:60t H27:22.1t H28:26.1t H29:29.6t</p> <p>◆四万十農法米栽培面積 H31:20ha H27:4戸 120a H28:10戸 277a H29:14戸 615a</p> <p>◆四万十農法米生産量 H31:88.4t H27:4.92t、H28:11.94t H29:23.7t</p> <p>◆一次産品等を活かした新商品の開発 H31:15アイテム ※農畜産物加工品以外を含む H27:25アイテム H28:17アイテム H29:26アイテム (中村14、西土佐12)</p>		<p>○「四万十ゆず」の地域団体商標登録に向けた取り組みの推進 (事業主体: JA高知はた) ・「四万十ゆず」の名称で青果の出荷販売 【再掲: 農業分野】</p> <p>○農産物ブランド化事業 (四万十農法米普及促進) 【240千円】 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 ・食味コンテスト出展経費 ・しまんと農法米リーフレット作成 【再掲: 農業分野】</p> <p>○農産物ブランド化事業 (四万十農法米普及促進) 【752千円】 地方創生推進交付金を活用 ・東京、大阪での商談会等への参加 ・プロジェクトサイト作成経費 ・40010日プロジェクトPRポスター</p> <p>○四万十牛の普及推進にかかる取り組み</p>	
【連携AP4】 (2) 四万十ヒノキ製品の商品力強化						
◎四万十ヒノキのブランド化の推進《林業23》 ◎木材製品の生産拡大・商品力の強化《林業13・24》	<p>【再掲】</p> <p>○「四万十ヒノキの家」での見学・宿泊体験の実施 宿泊者 46組 延べ239名宿泊 (12月末現在) 見学者 170名</p>	四万十市 (農林水産課) 森林組合 四万十ヒノキブランド化推進協議会	<p>◆「四万十ヒノキ」としての知名度が向上し、ヒノキ製品の生産が拡大している</p> <p>◆木材・木製品製造品出荷額等</p>		<p>【再掲: 林業分野】</p> <p>○宿泊体験型モデルハウス管理費 【363千円】 ・「四万十ヒノキの家」での見学・宿泊体験の実施</p>	

分野 連携テーマ 施策 アクションプラン 主要内容	平成29年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算 (取り組み) 概要						
						連携分野					
						★木工製品の生産拡大・商品力の強化《林業14・24》	○四万十ヒノキブランド化推進協議会 幹事会、総会、担当者会を開催 【再掲】 ○フェア等への参加 10月 高知もくもくランド2017秋まつり (主催: 高知県木材普及推進協会、高知県) (出店: 四万十ヒノキブランド化推進協議会) 四万十ヒノキのPR 11月 「幡多山もりフェス2017」 (主催: 幡多山もりフェス実行委員会) (出店: 株式会社かわらっこ) ○協働の森づくり (3企業・・・体験交流、四万十ヒノキPR) ・間伐体験 11月 株式会社清流メンテナンス 日鉄住金環境プラントソリューションズ(株) 12月 浅野環境ソリューション(株) ※KDDI(株) (9月末で契約満了)	製材加工事業者	H24: 7億5,000万円 → H31: 8億円 H25: 7億9,477万円 H26: 8億3,330万円		【再掲: 林業分野】 ○四万十ヒノキブランド化推進協議会負担金 【200千円】 ・ブランド化協議 ・「高知もくもくランド2018秋まつり」へ出展PR 予定 【再掲】 ○フェア等の開催 ・「幡多山もりフェス2018」開催 予定 (主催: 幡多地域7森林組合が中心の実行委員会) 「四万十ヒノキの家」出店・PR ○協働の森づくり * 【186千円】 ・3企業・・・体験交流、四万十ヒノキPR
						【連携AP5】 (3) 水産物の高付加価値化					
◎品質管理の向上《水産10》 ★商品力の強化《水産10》 ★未利用資源等の掘起しと利活用《水産11・14》【再: AP10】 ★新たな商品の企画・開発の支援《水産11》	【再掲】 ○食の魅力を活かした地域振興事業 (実施主体: 四万十市食文化磨き上げ研究会) 地方創生推進交付金を活用 6月～ 食文化の磨き上げ研究会の開催 (8回) 食文化掘り起こし、郷土料理レシピ研究、食の冊子づくり 3月 モニター事業の実施 (ANA) 【再掲】 ○地域おこし協力隊 11月～ あゆ市場拠点に1名採用 【再掲】 ○地域商社「株式会社西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業 (道の駅「よって西土佐」関連) 地方創生推進交付金を活用 ・クラウドファンディング実施 目的: 清流四万十川、天然鮎を価値を取り戻し後世へつなげる。 内容: 世界へ通用する四万十川の天然鮎を使った商品開発 目標設定金額: 1,000千円	四万十市 (農林水産課・観光商工課・産業建設課) 漁業協同組合 事業者 生産者	◆安定した品質が確保され、販売額の増加につながっている ◆一次産品等を活かした新商品の開発 H31: 15アイテム ※水産物加工品以外を含む H27: 25アイテム H28: 17アイテム H29: 26アイテム (中村14、西土佐12)		【再掲: 農業・商工業分野と共通】 ○地域商社「株式会社西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業 (道の駅「よって西土佐」関連) (実施主体: 株式会社西土佐ふるさと市) 地方創生推進交付金を活用 ・産地化促進・商品の開発・外商活動・情報発信 【再掲: 水産分野】 ○地域おこし協力隊経費 【3,756千円】 ・あゆ市場拠点 1名配置						
【連携AP6】 (4) 地域資源を活かした商品開発											
○事業者や地域グループ等の人材育成《商工5》【再: AP8】 ★商品開発、販路開拓の推進組織の設立・運営《商工5》 【再: AP8】 ◎加工原料の安定確保に向けたマッチングの促進《商工1》	○地域の頑張る人づくり事業補助金 (事業主体: 四万十市地域商品研究会) ・研修期間: 10月～1月 (4回) ・研修テーマ: 持続的な事業を展開・発展させる人材を育成 10月 人材を集めるための自社PRの方法 10月 ビジネスリーダーの育成 11月 組織を発展させるマネジメント 1月 強い組織を創る仕組みづくり	四万十市 (農林水産課・観光商工課・産業建設課・地域企画課) 関係団体・組織 事業者 生産者	◆事業者間や地域で協働した商品開発、販路開拓等の取組みが円滑に推進されている ◆一次産品等を活かした新商品の開発 H31: 15アイテム H27: 25アイテム H28: 17アイテム H29: 26アイテム (中村14、西土佐12)		○県などが開催する食品表示セミナー等への参加促進 【農業・商工業分野と共通】 ○幡多広域地産外商推進協議会負担金 * 【50千円】 地方創生推進交付金を活用 ・幡多6市町村共同による外商活動を展開 ○産地視察型商談会の開催 幡多広域地産外商協議会で実施を検討 【再掲】 ○地域おこし協力隊経費 【6,523千円】 ・道の駅2名配置						

分野 連携テーマ 施策 アクションプラン 主な内容	平成29年度の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算 (取り組み) 概要
連携分野					
<p>◎事業者、地域等の提案を拾い上げる体制強化 《商工2・16》</p> <p>★事業者間のマッチング機会の創出 《商工2》</p> <p>○テストマーケティング 《商工1》</p> <p>○商品の品質、ラベル等の磨き上げや表示の適正化 《商工1》</p> <p>○新たな商品・サービス等の企画・開発支援 《商工3》</p> <p>○アドバイザーの派遣 《商工3》</p> <p>○試作品のテストマーケティング 《商工3》</p> <p>◎地域ならではのアイデア、資源を活かした商品開発 《商工16》</p>	<p>○地域おこし協力隊事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域振興関係5名配置 富山地区、大川筋・後川地区、須崎・大宮地区、奥屋内地区、半家地区にそれぞれ1名配置 ・産業振興関係2名配置 西土佐道の駅にて商品開発担当、デザイン担当を配置。 ・内水面漁業振興1名配置 11月～ 鮎市場に1名配置 ・農業振興関係(西土佐地域)1名は、30年度に雇用予定 <p>○地域のグループとの意見交換会等 地域の情報発信や商品開発等に向けた取組について総合的な支援策等を検討</p> <p>6月 常六地区で集落が実施している休耕田を活用した米作りの販売方法等について検討</p> <p>8月 大屋敷地区で地域農産物等の外商について協議</p> <p>○幡多広域地産外商協議会 6月 総会 7～3月 作業部会8回</p> <p>○ぶしゅかん普及推進事業 (実施主体：四万十ぶしゅかん株式会社) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 5月～12月 ぶしゅかん集荷場施設整備(8月、9月一部整備完了) (洗浄ライン、搾汁機、濾過機、真空機等) 事業完了日：平成29年12月15日</p> <p>【再掲】</p> <p>○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連) 地方創生推進交付金を活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品開発 青さ塩、ジャム・マーマレード、ドライフルーツ 夏野菜のオイル漬け、鮎のコンフィ 12品目 ・産地化促進講習会 7月・12月 栽培講習会 1月～2月 加工品開発ワークショップ開催(3回) 2月 他直売所施設視察研修(2回) <p>○四万十市餃子企画開発・販路開拓事業 (事業主体：有限会社 和) 四万十市産振総合補助金を活用 9月 まるごと高知テストマーケティング(東京)</p> <p>【再掲】</p> <p>○地域産品を活用したペット関連事業 (実施主体：WAN LIFE) 四万十市産振総合補助金を活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品(ペット用スープ)のパッケージデザイン、パンフレット等作成 				<p>【再掲：水産分野】</p> <p>○地域おこし協力隊経費 【3,756千円】 ・あゆ市場拠点 1名配置</p> <p>【再掲】</p> <p>○地域おこし協力隊起業補助金(4名分) 【4,000千円】 ・地域おこし協力隊修了者の起業への支援</p> <p>○地域おこし協力隊経費(6名) * 【22,385千円】 ・地域振興 (中村地域) 富山地区、大川筋・後川地区 (西土佐地域) 須崎・大宮地区、奥屋内地区、半家地区 ・農業振興(西土佐地域)</p> <p>【農業・商工業分野と共通】</p> <p>○特産品等販売促進事業(商談会出展) * 【1,986千円】 地方創生推進交付金を活用 ・市内特産品販売促進のため、大規模商談会へ出展支援 スーパーマーケットトレードショー 東京インターナショナルギフトショー</p> <p>【再掲：農業・商工業分野と共通】</p> <p>○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連) 【20,713千円】 (実施主体：(株)西土佐ふるさと市) 地方創生推進交付金を活用 ・産地化促進 ・商品の開発 ・外商活動 ・情報発信</p>

分野 連携テーマ 施策 アクションプラン 主要内容	平成29年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算 (取り組み) 概要						
						連携分野					
						【連携AP7】 (5) 滞在型の観光商品づくり					
						◎観光マーケティングリサーチ《観光1》					
<p>★四万十市のどこが好きキャンペーンの実施《観光1》</p> <p>◎観光商品としての検証と磨き上げ《観光2》</p> <p>○専門家を活用した観光商品の磨き上げ《観光2》</p> <p>◎観光商品づくりワークショップの開催《観光3》</p> <p>★異業種交流会の開催《観光3》</p> <p>◎地域の産業と連携した新たな観光商品づくり《観光3》</p> <p>★閑散期のメニュー開発《観光3》</p> <p>○周遊観光プランの造成・発信及び販売《観光5》</p>	<p>○観光動向等アンケート調査 4月～ 観光案内所(観光協会)窓口で外国人観光客へのアンケート調査 5月(GW) 佐田沈下橋で観光動向アンケート 7月 H28の観光動向調査の結果集計 平成28年に実施されたイベント・祭りの入込数及びキャンプ場・海水浴場・温泉施設の利用状況集計し観光動向調査報告書を作成調査 8月(お盆) 佐田沈下橋で観光動向アンケート</p> <p>○四万十流域サイクルロード整備プロジェクト 企業版ふるさと納税事業を活用 4月～ 伐採した木の撤去 8月～ 路面の補修 11月～ 路面の補修 1月～ 景観を阻害する雑木の伐採等 ※予算執行額 総計9,700千円程度</p> <p>○県外旅行者、学校等への誘致活動(観光ニーズ調査) 8月 関東方面</p> <p>○四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光推進連携事業 (事業主体: 幡多広域観光協議会) 地方創生推進交付金を活用 中長期計画に基づく取組のターゲットとして、一般旅行、国際観光、教育旅行、スポーツツーリズムを想定し、ターゲットごとに3つの取組方針を掲げて事業を実施 ①商品造成・誘客促進 ②広報PR ③体制強化の各事業を実施</p> <p>○インバウンド(外国人観光客)受入体制向上事業 (事業主体: 四万十市観光協会) 着物で街歩きプラン(KIMONOLOILOI)の販売 4月～ 着物レンタル(呉服店と連携)による小京都中村の「街歩き」体験メニュー</p> <p>○四万十市観光振興連絡会議 5月～「四万十川花紀行事業」等について各部会で検証</p> <p>○西土佐観光推進協議会 7月 観光プログラムの検証等</p> <p>○四万十市体験型観光受入研究会 4月 農村生活体験ホームステイに係る衛生講習会</p> <p>○志国高知幕末維新博での取組み(H29.3開幕) 4月～ 市内循環(四万十トロリー)バス・川バスの増便 8月 ガイド養成講座講師との打ち合わせ 9月 玉姫様の通行手形利用数調査の実施 市内循環(四万十トロリー)バス下期運行計画策定 観光クラスターガイド養成講習など 2月 為松公園案内看板設置 観光ガイドブック作成(多言語対応) 幕末維新博第2幕以降用周遊パンフレット作成</p>	<p>四万十市 (観光商工課・産業建設課) 観光協会 四万十市観光振興連絡協議会 西土佐観光推進協議会 四万十市体験型観光受入研究会 幡多広域観光協議会 予土県境地域連携実行委員会 四万十川流域市町村観光振興連絡会 四国西南地域観光連絡協議会</p>	<p>◆多様な実施主体が連携を強め、満足度、リピート率の高い滞在型の観光プログラムを持続的に展開している ◆体験・宿泊等のプラン造成件数 H31:10アイテム H27:3アイテム H28:0アイテム ◆広域における一般観光客数 H31:53,750人増 H27:1,173,511人 H28:1,185,968人 ◆広域におけるスポーツ客数 H31:10,000人増 H27:107,961人 H28:142,778人 ◆広域における外国人延べ宿泊数 H31:13,300人泊 H27:8,476人泊 H28:8,830人泊 ◆広域組織における5つの機能 ◆広域組織における5つの機能 ①商品の企画・立案 ②商品の造成、販売、取扱 ③広報、情報発信、窓口 ④地域の人材育成 ⑤観光産業化 H31:1強化</p>	<p>【観光分野】 ○観光案内所運営補助金 * 【7,200千円】 (事業主体: 四万十市観光協会) ・観光協会観光案内所、臨時観光案内所での観光動向(観光案内所運営に要する補助金を含む) 【観光分野】 ○四万十流域サイクルロード整備プロジェクト * 【10,000千円】 地方創生企業版ふるさと納税事業を活用 実施箇所: 四万十川佐田沈下橋右岸から三里沈下橋右岸の市道 内容: サイクルロードの路面整備や景観を阻害する樹木の伐採等 【観光分野】 ○観光客誘致宣伝活動 * 【4,490千円】 地方創生企業版ふるさと納税事業を活用 ・誘致活動とあわせた観光ニーズ調査(619千円) 国内(関東・関西・名古屋)への誘致活動 【商工業・観光分野と共通】 ○四万十川を活用した魅力向上事業補助金 * 【1,450千円】 (事業主体: 四万十市観光振興連絡会議) ・花と食をテーマとした観光イベント(四万十川花紀行等)の開催、検証等 ○西土佐観光推進協議会 - ・観光クラスター事業(サイクリング周遊等)協議 ・川降りマップ作成作業 ○四万十市体験型観光受入研究会 - ・体験プログラム等の磨き上げ、開発、家庭募集、研修ほか 【観光分野】 ○土佐の小京都中村550年祭の取組み(H30.3開幕) * 【13,757千円】 土佐の小京都中村550年祭補助金 (事業主体: 土佐の小京都中村550年祭実行委員会) ・年間を通じた記念行事の開催 ・記念企画の実施 ・協賛・関連行事との連携 【観光分野】 ○小京都550年まんが冊子制作業務 * 【908千円】 【観光分野】 ○幡多広域観光協議会負担金 * 【8,598千円】 前年度の取組方針を踏襲しながら、新たに高知県下で予定している「自然型」「アクティビティ型」観光キャンペーンと連携した事業を展開 ○四国西南サミット観光部会 - ・九州方面への誘致活動</p>							

分野 連携テーマ 施策 アクションプラン 主な内容	平成29年度の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算 (取り組み) 概要
連携分野	<p>○土佐の小京都中村550年祭の取組み(H30.3開幕) (実施主体:土佐の小京都中村550年祭実行委員会) 10月 第一回実行委員会 2月 第二回実行委員会 知事表敬訪問(開幕PR) 3月 オープニングセレモニー 一條神社での一條家への感謝と550年祭の成功祈願 観光開きと併せて550年祭記念行事の広報 郷土資料会館の部分開放 (1階と6階展望室)</p> <p>○体験メニューの磨き上げ・開発 4月 アドバイザー (県観光アドバイザー) 招致 体験型観光受入家庭地域研修会開催 (若藤集会所、JA高知はた中村東部出張所)</p> <p>○四国西南サミット観光部会 9月 部会開催 (於 土佐清水市) 11月 大分県へ視察</p> <p>○四万十川遊覧船協議会 4～3月 総会・協議会を開催 (6回) 【再掲】</p> <p>○食の魅力を活かした地域振興事業 (実施主体:四万十市食文化磨き上げ研究会) 地方創生推進交付金を活用 6月～ 食文化の磨き上げ研究会の開催 (8回) 食文化掘り起こし、郷土料理レシピ研究、 食の冊子づくり 3月 モニター事業の実施 (ANA)</p>				<p>○四万十川観光遊覧船協議会 ・観光遊覧船事業の検証や磨き上げ (総会及び臨時会) 【農業・水産業・商工業・観光分野と共通】</p> <p>○食の魅力を活かした地域振興事業 * 【1,013千円】 地方創生推進交付金を活用 ・「四万十の食研究会」における活動の継続 地域の食に関する研究会のこれまでの取り組みの仕上げとして、おいしい四万十の食についての発信冊子 (伝承レシピ、食材、食の体験等) を作成 * 【938千円】 【観光分野】</p> <p>○モンベルフレンドエリア登録 日本有数のアウトドアメーカーである(株)モンベルと提携し、カヌー、サイクリング等の四万十川周辺の観光素材を、情報誌等に掲載することなどにより、本市のPR効果を高め誘客を図</p>
2. 情報発信と販路開拓・拡大	【連携AP8】 (1) 地域産品の発信と販路開拓・拡大				
<p>★産業間連携や広域連携による 外商活動《農業15、水産13、商工 4・8》</p> <p>○商談会等販路開拓・拡大の支 援《農業15、水産13、商工4》</p>	<p>○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業 (道の駅「よって西土佐」関連) 地方創生推進交付金を活用</p> <p>・地産外商活動 4月～3月 松山大街道にて外商活動 92回 4月～11月 七駅物語プラス1 (愛媛県道の駅との連携) 愛媛奥伊予チャーハン街道実施 (スナッパリア) 7月 サニーマーケット土佐清水店で外商 2回 8月 JR予土線ビールトロッコでの販売 2回 9月 北の恵みうまいものマルシェ2017 (旭川市) に出店 (ふるさと市、ぽっぽ栗、鮎市場) 10月 フェスティバル土佐ふるさと祭り 11月 枚方市友好都市物産展 12月 高知大丸冬の味覚祭り 3月 高知大丸春の味覚祭り、松山大街道いちごフェア</p> <p>○ふるさとまつり参加団体補助金 (300千円) 補助事業者: (株)西土佐ふるさと市 参加団体: 8事業者</p>	四万十市 (農林水産課・観光 商工課・産業建設 課・地域企画課) 関係団体・組織 事業者 生産者	<p>◆産業間が連携し、多様な 外商活動が展開されている</p> <p>◆多様な広報・プロモー ション活動が展開され、地 域産品の販売促進につな がっている</p> <p>◆商談会等での商談件数 H26:108件/年 → H31:150件/年 H27:134件/年 H28:377件/年</p>	<p>【再掲:計画の変更】 ○《商工業分野AP10》「土 豫銀行跡地活用による拠点 整備」の取組み内容に賑わ い拠点施設の整備計画スケ ジュールを追加</p>	<p>【農業・商工業分野と共通】</p> <p>○特産品等販売促進事業 (四万十フェア開催) * 【562千円】 地方創生推進交付金を活用 ・東京、近畿、九州地方で地域産品のPR、 販売フェアを実施</p> <p>【農業・水産業・商工業と共通】</p> <p>○枚方市・四万十市友好都市推進協議会補助金 * 【800千円】 (実施主体:枚方市・四万十市友好都市推進協議会) ・枚方物産展への出展ほか 【再掲:農業・商工業分野と共通】</p> <p>○特産品等販売促進事業 (商談会出展) 【1,986千円】 地方創生推進交付金を活用 ・市内特産品販売促進のため、大規模商談会へ 出展支援 スーパーマーケットトレードショー 東京インターナショナルギフトショー</p> <p>【農業・商工業分野と共通】</p> <p>○大手居酒屋チェーンや県内外の飲食店への販促 ・地元農産物を活用した加工品等を紹介し取引を進める</p>

※主な内容:★は新規、◎は拡充、○は継続

分野 連携テーマ 施策 アクションプラン 主な内容	平成29年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算 (取り組み) 概要
	連携分野				
	<p>○産地視察型商談会の開催 5月 高知県産品商談会 (高知市) 参加バイヤー76社、参加事業者105社 (内市内7業者)</p> <p>○四万十市特産品等販売促進事業 (実施主体: 四万十市地域商品研究会) 四万十市産振総合補助金を活用</p> <p>11月 高知県物産展 in台湾 (JASONS) 3事業所出展 1月 高知県物産展 in台湾 (微風広場) 1事業所出展 2月 ゲルメ&ダニングスタイルショー 東京ビックサイト 3事業者出展 スーパーマーケットトレードショー 千葉幕張メッセ 1事業者出展</p> <p>○特産品販売促進事業 (商談会出展) ・東京インターナショナルギフトショー 2月 ゲルメ&ダニングスタイルショー 東京ビックサイト 5事業者出展 スーパーマーケットトレードショー 千葉幕張メッセ 3事業者出展</p> <p>○地産外商活動 9月 幡多バル西新宿店オープン 開店時にぶしゅかん青玉PR 10月 幡多フェア (サニーアクシス南国店: 南国市) 四万十市7事業者 (幡多地域25事業者、市内7業者) 四万十フェア「全国交流物産展 in 新橋」 幡多バル高知店オープン 高知もくもくランド2017秋まつり 11月 枚方市友好都市物産展 1月 幡多フェア (サニーマート衣山店: 松山市) 3月 モンベルクラブフレンドフェア (パシフィコ横浜) 【再掲】</p> <p>○四万十市餃子企画開発・販路開拓事業 (事業主体: 有限会社 和) 四万十市産振総合補助金を活用</p> <p>7月 五味商店こだわり商品展示会 (東京) 8月 外食ビジネスウィーク2017「居酒屋産業展」 (東京) 9月 まるごと高知テストマーケティング (東京) NAGOYAフードビジネスショー (名古屋) 11月 FOOD STYLE 2017 in FUKUOKA (福岡) 2月 ゲルメ&ダニングスタイルショー 東京ビックサイト スーパーマーケットトレードショー 千葉幕張メッセ 3月 FOOD EX JAPAN 2018 (東京) 【再掲】</p> <p>○地域産品を活用したペット関連事業 (実施主体: WAN LIFE) 四万十市産振総合補助金を活用</p> <p>1月 Pet博2018 (横浜) 出展 2月 東京インターナショナルギフトショー-2018 (東京) 出展</p>				<p>【再掲: 農業・商工業分野と共通】 ○幡多広域地産外商推進協議会負担金 【50千円】 地方創生推進交付金を活用 ・幡多6市町村共同による外商活動を展開</p> <p>【再掲: 農業・水産業・商工業分野と共通】 ○地産外商促進事業 (西土佐地域出展関係) 【463千円】 ・ビールトロッコ ・ふるさとまつり ・幡多フェア ・枚方物産展 ・大丸フェア春、冬</p> <p>【商工業分野】 ○四万十市特産品等販売促進事業 * 【2,051千円】 (実施主体: 四万十市地域商品研究会) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 ・首都圏での商談会出展 (ギフトショー、トレードショー) ・海外でのフェア出展 (台湾「高知フェア」) ・商品開発費</p>
	<p>★一元的な情報発信の促進 《商工4、7、観光7》 【再: AP9、AP11】</p>	<p>○シティプロモーション推進事業 地方創生推進交付金を活用</p> <p>4月 シティプロモーションプレスリリース リピーターバッジの配布開始 プロモーションツール活用開始</p>			

分野 連携テーマ 施策 アクションプラン 主要内容	平成29年度の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算 (取り組み) 概要
連携分野 ◎地域の人、もの、コトの発信 《商工17》 【再掲:AP6】 ◎事業者や地域グループ等の人材育成《商工5》 【再掲:AP6】 ★商品開発、販路開拓の推進組織の設立・運営《商工5》	(ポスター、封筒、マグネットサイン、バナースタンド) 5月～ プロモーションツール作成のためのワークショップ開始 6月 市ロゴマーク活用周知 (市ホームページ、市広報) 市ホームページにプロモーションページ追加 市プロモーションビデオ制作開始 11月 日本パッケージデザイン協会全国会議 (川から学べJPDAしまんと100人デザイン会議) 1月 ロゴ入りクリアファイル作成 (新成人に配布) 2月 しまんとエコバック販売開始 3月 市プロモーションビデオ完成、セパレーター・クラフトテープ作成 ◎観光プロモーション動画の効果的な発信 HP及びYouTubeによる発信 【再掲】 ◎地域の頑張る人づくり事業補助金 (事業主体: 四万十市地域商品研究会) ・研修期間: 10月～1月 (4回) ・研修テーマ: 持続的な事業を展開・発展させる人材を育成 10月 人材を集めるための自社PRの方法 10月 ビジネスリーダーの育成 11月 組織を発展させるマネジメント 1月 強い組織を創る仕組みづくり 【再掲】 ◎地域おこし協力隊 ・地域振興関係5名配置 富山地区、大川筋・後川地区、須崎地区、奥屋内地区、 半家地区にそれぞれ1名配置 ・地域振興関係 (中山間産業再生) 1名は、30年度に雇用予定 ・産業振興関係2名配置 西土佐道の駅にて商品開発担当、デザイン担当を配置 ・内水面漁業振興1名配置 11月～ 鮎市場に1名配置 ・農業振興関係 (西土佐地域) 1名は、30年度に雇用予定 【再掲】 ◎地域のグループとの意見交換会等 地域の情報発信や商品開発等に向けた取組について総合的な支援策等を検討 6月 常六地区で集落が実施している休耕田を活用した米作りの販売方法等について検討 8月 大屋敷地区で地域農産物等の外商について協議 【再掲】 ◎幡多広域地産外商協議会 6月 総会 7～3月 作業部会8回				【各分野共通】 ◎四万十市産業祭の開催 【3,000千円】 ◎観光プロモーション動画の効果的な発信 — 【再掲:観光分野】 ◎幡多広域観光協議会負担金 【8,598千円】 前年度の取組方針を踏襲しながら、新たに高知県下で予定している「自然型」「アクティビティ型」観光キャンペーンと連携した事業を展開 【再掲:農業・商工業分野と共通】 ◎幡多広域地産外商推進協議会負担金 【50千円】 地方創生推進交付金を活用 ・幡多6市町村共同による外商活動を展開
【再掲:AP1】 ◎有機農産物の流通促進 《農業16》	【再掲】 ◎環境にやさしい農業のための研究会 4月～ 学校給食への農産物供給 5月 公家行列 (物産市) へ出展し、PR				【再掲】 ◎環境にやさしい農業のための研究会の支援 — ・公家行列 (物産市)、枚方市・四万十市都市交流物産展等へ出展PR ・商談会への出展

分野 連携テーマ 施策 アクションプラン 主な内容	平成29年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算 (取り組み) 概要
連携分野 ◎四万十ヒノキ製品の販売力の強化《林業25》 【再掲:AP 1】 ◎漁協の販売機能の強化《水産12》 ★販路を見据えた漁業《水産12》 ◎水産物・水産加工品のブランディングの構築と発信《水産13》 【再掲:AP 2】 ★土佐銀行跡地活用による拠点整備《商工10》 【再掲:AP 2】 ★道の駅「よって西土佐」の整備・機能強化《農業13、商工10、18》	【再掲】 ○地産外商活動 9月 北の恵みうまいものマルシェ2017 (旭川市) に鮎市場出店 10月 フェスティバル土佐ふるさと祭り 鮎市場出店 11月 枚方市友好都市物産展 鮎市場出店 12月 高知大丸冬の味覚祭り 鮎市場出店 3月 高知大丸春の味覚祭り 鮎市場出店 【再掲】 ○地域おこし協力隊 11月～ あゆ市場拠点に1名採用 ○ふるさと納税へ水産加工品等を登録 4月～ うなぎ、鮎、鮮魚、加工品等 【再掲】 ○旧土佐銀行跡地開発事業 ・公募型プロポーザルにより事業者決定 四万十にぎわい商店株式会社 ・基本設計補助 2,108千円 ・用地測量業務 417千円 ・アドバイザー招聘 210千円 【再掲】 ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創成事業 (道の駅「よって西土佐」関連) 地方創生推進交付金を活用 ・クラウドファンディング実施 目的: 清流四万十川、天然鮎を価値を取り戻し後世へつなげる。 内容: 世界へ通用する四万十川の天然鮎を使った商品開発 目標設定金額: 1,000千円 ○道の駅「よって西土佐」ホームページリニューアル事業 (事業主体: 株式会社西土佐ふるさと市) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 ・オフィシャルサイト作成 ・オンラインショップの開設				【再掲: 林業分野】 ○四万十ヒノキブランド化推進協議会負担金 【200千円】 ・ブランド化協議 ・「高知もくもくランド2017秋まつり」へ出展PR 予定 【再掲: 農業・水産業・商工業分野と共通】 ○地産外商促進事業 (西土佐地域出展関係) 【463千円】 ・ふるさとまつり ・枚方物産展 ・大丸フェア春、冬 【再掲: 水産分野】 ○地域おこし協力隊経費 【3,756千円】 ・あゆ市場拠点 1名配置 【再掲: 商工業分野】 ○旧土佐銀行跡地開発事業 【7,423千円】 事業主体: 四万十にぎわい商店株式会社 ・実施設計補助 ・先進地視察 (いきいき唐津(株) 佐賀県唐津市) 【再掲: 農業・商工業分野と共通】 【20,713千円】 ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創成事業 (道の駅「よって西土佐」関連) 地方創生推進交付金を活用 ・産地化促進・商品の開発・外商活動・情報発信
【連携AP 9】 (2) 観光商品のセールス・情報発信					
○広域連携によるキャンペーンの展開《観光5》 ★営業力のある人材、組織の育成《観光6》 ◎旅行会社への営業活動の促進《観光6》 ○旅行商品商談会等への出展《観光6》 ★海外への営業活動の促進《観光6》	【再掲】 ○四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光推進連携事業 (事業主体: 幡多広域観光協議会) 地方創生推進交付金を活用 中長期計画に基づく取組のターゲットとして、一般旅行、国際観光、教育旅行、スポーツツーリズムを想定し、ターゲットごとに3つの取組方針を掲げて事業を実施 ①商品造成・誘客促進②広報PR③体制強化の各事業を実施 ○観光客誘致宣伝活動 (事業主体: 四万十市観光協会) 11月 誘致活動 ○予土県境地域連携実行委員会 4～9月 「サイクルトレイン四万十号」運行 (土日祝日) 9月 「四万十・南予横断2リバービューライド」開催 10～2月末 「サイクルトレイン四万十号」運行 (土日祝日)	四万十市 (観光商工課・産業建設課) 観光協会 幡多広域観光協議会	◆観光人材・組織のスキル (商品企画、営業力等) が向上し、産業間連携、広域連携のもと「待ちの誘客」から「動く誘客」にシフトしている ◆多様な広報・プロモーション活動が展開され、観光誘客につながっている ◆観光協会ホームページアクセス数 H26: 119,577件 → H31: 150,000件 H27: 137,953件 H28: 105,600件		【再掲: 観光分野】 ○幡多広域観光協議会負担金 【8,598千円】 (事業主体: 幡多広域観光協議会) 地方創生推進交付金を活用 前年度の取組方針を踏襲しながら、新たに高知県下で予定している「自然型」「アクティビティ型」観光キャンペーンと連携した事業を展開 【観光分野】 ○予土県境地域連携実行委員会負担金 * 【550千円】 ・サイクリングを核とした観光振興連携事業ほか 【観光分野】 ○四万十川流域市町村観光振興連絡会負担金 * 【538千円】 ・流域物産展開催ほか 【観光分野】 ○四国西南地域観光連絡協議会負担金 * 【40千円】 ・パンフレット作成ほか

分野 連携テーマ 施策 アクションプラン 主な内容	平成29年度の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算 (取り組み) 概要
連携分野 ○多様な媒体を活用した広報活動の強化《観光7》 【再掲:AP8】 ★一元的な情報発信の促進 《商工4、7、観光7》 ★ターゲットに合わせたプロモーションの展開《観光7》 ◎産業間連携や広域連携による誘客 (PR) 活動 《観光7》 【再:AP11】	○四国西南地域観光連絡協議会 総会開催 ・パンフレット作成ほか ○四万十川流域市町村観光振興連絡会 7月 総会開催 11月 担当者会開催 四万十川流域観光パンフレット増刷 2月 担当者会開催 【再掲】 ○県外旅行者、学校等への誘致活動 (観光ニーズ調査) 8月 関東方面 ○観光大使設置事業 名刺2,000枚印刷 (松田氏、間氏) 9月 第4回ご当地キャラまつり in 須崎参加 観光PR実施 【再掲】 ○シティプロモーション推進事業 地方創生推進交付金を活用 4月 シティプロモーションプレスリリース リピーターバッジの配布開始 プロモーションツール活用開始 (ポスター、封筒、マグネットサイン、パナースタンド) 5月～ プロモーションツール作成のためのワークショップ開始 6月 市ロゴマーク活用周知 (市ホームページ、市広報) 市ホームページにプロモーションページ追加 市プロモーションビデオ制作開始 11月 日本パッケージデザイン協会全国会議 (川から学べJPDAしまんと100人デザイン会議) 1月 ロゴ入りクリアファイル作成 (新成人に配布) 2月 しまんとエコバック販売開始 3月 市プロモーションビデオ完成、セロハンテープ・クラフトテープ作成 ○第3回四万十映画祭 (主催: 四万十映画祭実行委員会) 3月 四万十市立文化センター (メイン会場) で開催 「映画館のない街で映画祭を」キャッチフレーズに四万十市で映画祭を開催し、市のPR、食のPR等を行う。 【再掲】 ○観光プロモーション動画の効果的な発信 HP及びYouTubeによる発信				○四国西南サミット観光部会 ・九州方面への誘致活動 【再掲: 観光分野】 ○観光客誘致宣伝活動 【4,490千円】 地方創生企業版ふるさと納税事業を活用 ・教育旅行、一般旅行の国内誘致活動 (619千円) ・四万十市観光ガイドブック等作成 (3,585千円) ・観光パンフレット送付 (26千円) 【観光分野】 ○観光大使設置事業 * 【603千円】 ・国内外への幅広い情報発信力を活かした広報活動を展開 H30年度委嘱予定者: 2名程度 【観光分野】 ○特産品等販売促進事業 (「さとむすび」運営委託料) * 【1,026千円】 これまで個別に管理し、それぞれ発信していた情報を集約し、データベース化することで一元管理する。集約した情報は「さとむすび」サイトからまとめて発信が可能 ○観光プロモーション動画の効果的な発信 【再掲: 商工業・観光分野と共通】 【3,222千円】 ○シティプロモーション推進事業 地方創生推進交付金を活用 ・ワークショップの開催、プロモーション展開 ・プロモーションツールの作成
3. 四万十の“食”文化の磨き上げと発信					
【連携AP10】 (1) “食”文化の磨き上げ					
○四万十の食文化の掘起し、磨き上げ《商工6》 【再掲:AP2】 ★地産地消認証店制度 《農業12、水産13、商工4・6》 ○塩たたくのブランド化の推進	【再掲】 ○食の魅力を活かした地域振興事業 (実施主体: 四万十市食文化磨き上げ研究会) 地方創生推進交付金を活用 6月～ 食文化の磨き上げ研究会の開催 (8回) 食文化掘り起こし、郷土料理レシピ研究、食の冊子づくり	四万十市 (農林水産課・観光商工課・産業建設課) 関係団体・組織 事業者 生産者	◆四万十の“食”として市内外の知名度が向上し、観光誘客など市街地への人の回遊につながっている ◆商店街通行者数 (平日) H22～H26平均 4,725人/日		【再掲: 農業・水産・商工業・観光分野と共通】 ○食の魅力を活かした地域振興事業 【1,013千円】 地方創生推進交付金を活用 ・「四万十の食研究会」における活動の継続 地域の食に関する研究会のこれまでの取り組みの仕上げとして、おいしい四万十の食についての発信冊子 (伝承レシピ、食材、食の体験等) を作成

分野 連携テーマ 施策 アクションプラン 主要内容	平成29年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算 (取り組み) 概要	
						連携分野
						【連携AP11】 (2) “食”の発信
						主要内容
《商工6》 ★ジビエ料理等の研究、普及 《商工6》 ★魚食文化の磨き上げ 《水産14》 【再掲:AP5】 ★未利用資源等の掘起しと活用 《水産11, 14》	3月 モニター事業の実施 (ANA) ○ジビエ料理の研究 8月 よさこいジビエ研究会に参加 (県、市町村、商工会、飲食店等から参加)		→ H31:4,845人/日 H27:4,591人/日 H28:4,676人/日 H29:5,878人/日		【再掲:農業・商工業分野と共通】 ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連) (実施主体:(株)西土佐ふるさと市) 地方創生推進交付金を活用 ・産地化促進・商品の開発・外商活動・情報発信 【再掲:水産分野】 ○地域おこし協力隊経費(あゆ市場1名)	
◎食の魅力を活かした観光地づくり《観光4》 ◎食の発信・普及イベントの開催 《水産15、商工7、観光4》 【再掲:AP8】 ★一元的な情報発信の促進 《商工4・7、観光7》 【再掲:AP9】 ◎産業間連携や広域連携による誘客(PR)活動《観光7》 ★県外を拠点とした店舗等による外商推進 《商工8》	【再掲】 ○食の魅力を活かした地域振興事業 (実施主体:四万十市食文化磨き上げ研究会) 地方創生推進交付金を活用 6月~ 食文化の磨き上げ研究会の開催(8回) 食文化掘り起こし、郷土料理レシピ研究、食の冊子づくり 3月 モニター事業の実施(ANA) ○食の発信・普及イベント等 4月 よっておきやく(道の駅よって西土佐) 5月 新たまつり(道の駅よって西土佐) 6月 四万十川花紀行「紫陽花まつり」 父の日フェア(道の駅よって西土佐) 7月 星の郷西土佐「天の川まつり」 とうもろこしまつり(道の駅よって西土佐) 8月 四万十ふしゅかん解禁祭 41℃フェア、なすふえず(道の駅よって西土佐) 9月 栗×カニ合戦(道の駅よって西土佐) 10月 新米まつり(道の駅よって西土佐) 11月 第7回西土佐産業祭 四万十うまいもの商店街 黒尊むらまつり ゆず祭り(道の駅よって西土佐) 12月 冬の感謝祭(道の駅よって西土佐) 1月 原木しいたけ祭り(道の駅よって西土佐) 2月 おでん鍋まつり(道の駅よって西土佐) 3月 四万十川花紀行「菜の花」まつり 道の駅フェア予定(道の駅よって西土佐) 【再掲】 ○第3回四万十映画祭(主催:四万十映画祭実行委員会) 3月 四万十市立文化センター(メイン会場)で開催 「映画館のない街で映画祭を」キャッチフレーズに四万十市で映画祭を開催し、市のPR、食のPR等を行う。 ○よって西土佐まつり(道の駅ライトアップ:松山市三番町) ・四万十市産の商品を販売 ・観光情報コーナーを設置し四万十市への誘客を促進 ・スタッフ研修会の実施 ・松山エリアの情報誌に広告を掲載	四万十市 (農林水産課・観光商工課・産業建設課) 関係団体・組織 事業者 生産者	◆四万十の“食”として市内外の知名度が向上し、観光誘客や市街地への人の回遊につながっている ◆商店街通行者数(平日) H22~H26平均 4,725人/日 → H31:4,845人/日 H27:4,591人/日 H28:4,676人/日 H29:5,878人/日 ◆一人当たりの観光消費額 H24:14,700円 → H31:18,150円 H27:13,939円 H28:15,246円 ◆産業祭来場者数 H25:2,000人 → H31:20,000人 H27:12,500人 H28:-	【再掲:農業・水産・商工業・観光分野と共通】 ○食の魅力を活かした地域振興事業 地方創生推進交付金を活用 ・「四万十の食研究会」における活動の継続 地域の食に関する研究会のこれまでの取り組みの仕上げとして、おいしい四万十の食についての発信冊子(伝承レシピ、食材、食の体験等)を作成 【再掲:商工業・観光分野と共通】 ○四万十川を活用した魅力向上事業補助金 (事業主体:四万十市観光振興連絡会議) ・花と食をテーマとした観光イベント(四万十川花紀行等)の開催、検証等 【商工業・観光分野と共通】 ○各団体等による食の発信・普及イベント等の開催 【再掲:各分野共通】 ○四万十市産業祭の開催 【再掲:農業・商工業分野と共通】 ○特産品等販売促進事業(四万十フェア開催) 地方創生推進交付金を活用 ・東京、近畿、九州地方で地域産品のPR、販売フェアを実施 【再掲:農業・水産・商工業分野と共通】 ○地産外商促進事業(西土佐地域出展関係) ・ふるさとまつり ・幡多フェア ・枚方物産展 ・大丸フェア春、冬		

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成29年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算(取り組み)概要
農業分野					
1 産地としての維持・強化					
1. 戦略品目の生産拡大					
【農業AP1】					
(1) ぶしゅかんの産地づくり					
<p>○生産量の拡大と産地化の推進</p> <p>◎認知度向上、販路開拓、ブランド化の取り組み</p>	<p>○ぶしゅかん集出荷支援事業 (実施主体：四万十ぶしゅかん生産者組合) 地方創生推進交付金を活用 8月～ 集出荷支援(人件費等の補助) ※収穫体制として多機能事業所「アオ」と連携 9～10月 集出荷支援(人件費等の補助) 集荷量：18t(市内のみ)</p> <p>【再掲】</p> <p>○ぶしゅかん産地化・普及推進事業 地方創生推進交付金を活用 6月 CD及び振り付けガイド製作 7～8月 CD・ガイドを市内保育所、小中学校等へ配付、取り組み依頼。保育所で敬老会や運動会でのダンスの取組。 9月 ぶしゅかん青玉キャンペーン 首都圏高級スーパー、ANAフェア、幡多パル西新宿店 10月 首都圏(新橋)にてぶしゅかん販促活動 10月・1月 幡多フェア(南国市・松山市)にて販促活動 11月 友好・交流都市物産展(枚方市)にて販促活動 10月～ 新規定植(苗代補助)1,300本 240a 新規定植予定圃場現地確認 有害鳥獣対策用防護柵(設置費補助)774m 2月 新規定植予定者への定植前講習会</p> <p>【再掲】</p> <p>○ぶしゅかん普及推進事業 (実施主体：四万十ぶしゅかん株式会社) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 5月～12月 ぶしゅかん集荷場施設整備(8月、9月一部整備完了) (洗浄ライン、搾汁機、濾過機、真空機等) 7月～8月 TV-CM展開</p> <p>○ぶしゅかん普及推進事業 (実施主体：四万十ぶしゅかん生産者組合) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 8月 ぶしゅかん解禁祭開催(天神橋商店街)</p> <p>○ぶしゅかん栽培現地検討会 5月、11月 栽培管理指導、巡回指導</p> <p>○ぶしゅかん栽培基準検討会 (四万十ぶしゅかん生産者組合) 7月、11月、12月、2月 無農薬等の栽培基準の制定など協議</p> <p>○小学校での学習会実施 ぶしゅまろクン小学校訪問によるぶしゅかんPR等 10月 中村南小学校 11月 西土佐中学校</p>	<p>四万十市 (農林水産課・観光商工課) 生産者 事業者</p>	<p>◆ぶしゅかん新植面積 H26:0.9ha → H31:12ha H27:4.9ha H28:7.7ha H29:9.7ha</p> <p>◆ぶしゅかん生産量 H26:13t → H31:54t H27:16t H28:22t H29:18t</p>		<p>【再掲：連携分野】</p> <p>○ぶしゅかん産地化推進事業 【3,245千円】 地方創生推進交付金を活用 ・新規定植(苗代への補助) 1,000本 200a ・有害鳥獣対策用防護柵(設置費補助) 1,500m ・集出荷支援事業(四万十ぶしゅかん生産者組合) ・都市圏の百貨店等でぶしゅかんのブランディングキャンペーンの展開 ・キャンペーン用パンフレット、ポスター作成</p> <p>【再掲：連携分野】</p> <p>○ぶしゅかん普及推進事業 【2,574千円】 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 ・ぶしゅかん出荷施設整備(584千円) (四万十ぶしゅかん(株)) ・TV-CM制作・サンプルPR費(1,324千円) (四万十ぶしゅかん(株)) ・ぶしゅかんニューボー開催(666千円) (四万十ぶしゅかん生産者組合)</p> <p>○栽培現地検討会 ・栽培管理指導</p> <p>○ぶしゅかん産地化推進計画の策定 ・目標栽培面積・生産量、青玉の流通(選果体制) ※市・振興センター・生産者組織・加工業者等で協議</p> <p>○地理的表示保護制度(GI)登録に向けた調査研究 ※地域で育まれた農産物の伝統と品質基準を守る証 (国が地域の特産品の「名称」を知的財産として保護)</p> <p>○四万十ぶしゅかん(株)を主体に各種商談会、展示会、物産展等での販路開拓・販売促進活動を展開</p>

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成29年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算(取り組み)概要						
						農業分野					
						<p>○園芸ハウス整備事業</p> <p>4月 交付決定2件(ピーマン農家11月、3月完了予定)</p> <p>5月 交付決定1件(大葉農家6月完了)</p> <p>7月 交付決定1件(ピーマン農家8月完了)</p> <p>10月 交付決定1件(生姜農家11月完了)</p> <p>1月 交付決定1件(オクラ農家1月完了)</p> <p>1月 交付決定1件(生姜農家2月完了)</p> <p>○燃料タンク対策事業 (実施主体:高知はた農業協同組合)</p> <p>・燃料タンク削除:1基</p> <p>・流出防止付タンクへの置き換え及び防油堤の設置:2基</p> <p>○農業生産物品質向上事業補助金 (事業主体:JA高知はた(米ナス部会))</p> <p>・米ナス部会で新規生産者の技術指導等 9月~3月 3回実施</p> <p>○わさび実証実験事業 (実施主体:四万十市わさび栽培協議会)</p> <p>4月 四万十市わさび栽培協議会設立</p> <p>8月 わさび栽培プラント実施設計</p> <p>7~9月 水温調査</p> <p>10月 わさび栽培プラント、ハウス建設発注</p> <p>12月 わさび栽培プラント完成、わさび苗植え付け</p> <p>○園芸産地リフレッシュ資金利子補給</p> <p>9月 利子補給1件(1千円) 2月 利子補給1件(1千円)</p> <p>○野菜価格安定事業(中村地域) (実施主体:四万十市中村野菜価格安定基金協会)</p> <p>5月に給付(前年度分)</p> <p>H28年度実績 オクラ:2,705千円、シトウ:196千円、パナ:3千円</p> <p>○園芸作物価格安定事業(西土佐地域) (実施主体:園芸作物価格安定基金評議会)</p> <p>8月 評議会を開催し新制度の概要提案(試算)</p> <p>H28年度実績 3,042千円</p> <p>11月 評議会を開催し新制度の詳細・条例案等確認 補給金支払(4回)</p>	<p>○燃料タンク対策事業 * 【2,167千円】</p> <p>・流出防止付タンク及び防油堤の整備:2基分</p> <p>○新規作物導入試作支援事業 -</p> <p>(実施主体:西土佐農業公社等)</p> <p>・栽培実証及び販売促進等を支援</p> <p>・西土佐農業公社で9品種について試験栽培を実施</p> <p>○わさび栽培実証実験事業 * 【1,922千円】</p> <p>・四万十市わさび栽培協議会 負担金</p> <p>○野菜価格安定事業(基金協会負担金) * 【1,000千円】</p> <p>・補給金:2,000千円(市1,000千円、JA1,000千円)</p> <p>○野菜価格安定事業(市事業分) * 【2,000千円】</p> <p>中村地域のみ 市・JA・生産者 1/3負担</p> <p>対象品目:オクラ・シトウ・ナバナ</p> <p>○園芸作物価格安定事業(特別会計) * 【15,070千円】</p> <p>補償価格を従来の経費積上げ補償から、精算(販売)単価見合い補償へ見直し検討</p>				
						2. 生産性の高い栽培技術の導入					
【農業:AP5】 (1)学び教えあえる場づくり											
◎学び教えあう場づくり	<p>○農業基礎講座</p> <p>県農業振興センターを主体とし、農業研修生を対象に基礎講座を実施(就農計画、制度資金、農薬適正使用、経営管理等)</p> <p>7、8、9、10、1月 農業基礎講座実施</p> <p>【再掲】</p> <p>○農業生産物品質向上事業補助金 (事業主体:JA高知はた(米ナス部会))</p> <p>・米ナス部会で新規生産者の技術指導等 9月~3月 3回実施</p>	<p>四万十市 (農林水産課・産業建設課)</p> <p>JA高知はた</p> <p>四万十農園あぐりっこ</p> <p>西土佐農業公社</p> <p>生産者</p>	<p>◆講座等を通じて、営農に不可欠な栽培技術や経営感覚が習得され、持続的な農業経営が実践されている</p> <p>◆新規就農者等と篤農家との交流が促進され、情報収集や就農後の相談体制等ネットワークが構築されている。</p>	<p>○農業基礎講座 -</p> <p>・県農業振興センターと主体とし、農業研修生を対象に基礎講座を実施(年4回程度実施予定)</p> <p>○JA選果場における目慣らし会の実施 -</p> <p>・研修生の目慣らし会への参加</p> <p>○地域内農家訪問研修 -</p> <p>・地域先進農家圃場で訪問研修</p> <p>○地域内農家による巡回指導 -</p> <p>・農家による四万十農園あぐりっこ研修生への訪問指導</p>							

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成29年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算(取り組み)概要	
						分野
						【農業:AP6】 (2)環境保全型農業の推進
						○環境保全型農業の普及・啓発
<p>○有機農業等総合支援事業 ・堆肥等有機物利用促進 4月～3月実績 14件</p> <p>○環境保全型農業直接支払交付金事業 化学肥料、農薬を使用しない取組み又は5割以上低減し、環境保全に効果の高い営農活動を支援 ・取組面積:2,378a、有機農業2,272a、カバークロープ106a</p> <p>○環境保全型農業推進事業 環境保全型農業を実践する農業者の育成、技術・機械導入経費への支援 ・中村地域 園芸部(11戸):264.8a(ミョウガ、大葉、キュウリ) イチゴ部(13戸):168a(予定) ・西土佐地域 JA高知はた西土佐支所イチゴ部会(2戸):22a</p>	<p>四万十市 (農林水産課・産業建設課) 生産者</p>	<p>◆四万十川のブランドイメージにマッチした環境保全型農業が推進され、消費者からの支持が集まり、農産物の高付加価値が高まっている</p> <p>◆環境保全型農業直接支援隊対策事業参加経営面積 H26:21ha → H31:31ha H27:19.4ha H28:23.8ha H29:2,378a</p> <p>◆環境保全型農業推進事業実施経営体数 H26:11戸 → H31:15戸 H27:26戸 H28:21戸 H29:26戸</p>	<p>○有機農業等総合支援事業 * 【600千円】 ・化学肥料に頼らない土作りのため、市内の家畜ふん堆肥や有機物堆肥の施用にかかる経費やその散布を支援し、循環型農業を推進 市内産畜産堆肥購入、たい肥散布 補助率1/3</p> <p>○環境保全型農業直接支払交付金事業(事務費含む) * 【2,234千円】 ・4団体 取組面積:2,737a 有機農業2,375a、カバークロープ362a</p> <p>○環境保全型農業推進事業 * 【410千円】 ・中村地域 園芸部(3戸):229.8a(ミョウガ、大葉、キュウリ) イチゴ部(13戸):171a(予定) ・西土佐地域 JA高知はた西土佐支所イチゴ部会(2戸):22a</p>			
<p>【農業:AP7】 (3)次世代型こうち新施設園芸システムの普及推進</p> <p>★次世代型こうち新施設園芸システムの普及推進</p> <p>○環境制御技術導入加速化事業 9月 補助金交付決定(ダクトファン導入1件) 3月 補助事業完了予定 1件</p> <p>○地域農業クラスター育成セミナー 6～8月 3回参加(県農業担い手育成センター)</p>	<p>四万十市 (農林水産課・産業建設課) 生産者</p>	<p>◆環境制御技術を導入する生産者が増加している</p> <p>◆環境制御装置導入農家数 H31:20戸 H27:8戸 H28:7戸 H29:1戸</p> <p>◆次世代施設園芸等への誘致企業数 H31:1社 H27:- H28:-</p>	<p>○環境制御技術導入加速化事業 * 【1,496千円】 補助金7件 大葉:2件、キュウリ:2件、イチゴ:1件、生姜:1件、ピーマン:1件</p>			
<p>3. 集落営農の推進</p> <p>【農業:AP8】 (1)集落営農の組織化、法人化の支援</p> <p>○組織化に向けた取組みの推進</p> <p>○フォローアップ体制の充実・強化</p>	<p>四万十市 (農林水産課・産業建設課) 集落営農組織</p>	<p>◆集落営農組織数 H26:20組織 → H31:25組織 H27:29組織 H28:30組織</p> <p>◆農業経営を行う法人数 H26:2法人 → H31:9法人 H27:5法人 H28:4法人</p>	<p>○集落営農支援事業(ソフト事業) * 【544千円】 ・先進地視察(組織化への誘導、既存組織へのフォローアップ・支援)</p> <p>○組織化への誘導 - ・地区座談会 ※地区の現状や将来の課題等、住民が話し合い今後の方向性を検討 ・集落営農研究会の開催(年2回程度)</p> <p>○農業経営力向上支援 * 【200千円】 ・集落営農組織の法人化及び組織化支援(1組織)</p>			

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成29年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算(取り組み)概要						
						農業分野					
						<p>○既存組織へのフォローアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落営農組織連絡協議会 9月 中村地域集落営農組織連絡協議会開催 ・組織別座談会 4～2月 (農)入田村協議(3回) 4～2月 (農)わらびおか協議(3回) 4～2月 山路営農組合協議(5回) 4～2月 東富山を守る会協議(10回) ・地元住民との交流 6月 小学校児童との田植え(若藤営農組合・利岡小学校) 10月 小学校児童との稲刈り(若藤営農組合・利岡小学校) 				<p>○既存組織へのフォローアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落営農組織連絡協議会(年1回程度) 法人化、先進組織の取り組み事例紹介 ・組織別座談会 事業導入や法人化に向けた勉強会の開催 ・地元住民との交流 小学校児童との田植えや稲刈り (若藤営農組合・利岡小学校) 	-
						<p>【農業:AP9】 (2)こうち型集落営農の実践</p> <p>○収益性の高い品目を導入した組織の育成・支援</p> <p>○集落営農支援事業(ハード事業) 営農組織に対する農業用機械、施設整備等の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農事組合法人入田村 7月 農業用倉庫交付決定(補助金額:11,971千円) 8月 乾燥機交付決定(補助金額:3,339千円) ・農事組合法人わらびおか 8月 糶摺機交付決定(補助金額:699千円) 色彩選別機交付決定(補助金額:3,480千円) ・山路営農組合 8月 乾燥機交付決定(補助金額:1,090千円) ・ふあーむ藪ヶ市 7月 乾燥機交付決定(補助金額:810千円) ・にしとさすさき営農組合 7月 糶摺機、自動選別計量機交付決定(補助金額:512千円) <p>○三里・利岡地区集落営農(法人化)に向けた協議 4～2月 利岡地区協議12回 8月～1月 三里地区協議2回</p>	<p>四万十市 (農林水産課・産業建設課) 集落営農組織 JA高知はた 生産者</p>	<p>◆収益性の高い品目を導入する組織が育成されている</p>	<p>○集落営農支援事業(ハード事業) * 【26,762千円】 組織に対する農業用機械、施設整備の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津野川営農組合(仮称) 農業用倉庫 ・西土佐西部営農組合 色彩選別機 ・津野川営農組合(仮称) 糶摺機、自動選別計量機 乾燥機 ・農事組合法人入田村 トラクター、乾燥機 ・農事組合法人わらびおか 農業用倉庫、乾燥機2台 ・東富山を守る会 コンバイン <p>○営農活動の持続・拡充に向けた取組み支援の継続</p>	-	
<p>4. 生産・出荷支援システムの構築</p> <p>【農業:AP10】 (1)農作業支援体制の充実</p> <p>★農作業支援体制の整備</p> <p>○農作業支援隊による農業労働力確保事業 (実施主体:高知はた農業協同組合) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用</p> <p>4月 補助金交付決定(補助金額:3,720千円) 4月～事業開始 無料職業紹介所(求人農家と求職者のマッチング) 農作業支援チーム(堆肥散布、作業支援、育苗等)</p> <p>○農作業支援体制の広域化</p> <p>4月 幡多地域労働力確保対策協議会の設立 7月 幡多地区農業振興担当者会にて取組強化の確認 PR強化:JA広報、折込、市広報などで紹介 9月 市広報に無料職業紹介所関連記事を掲載 1月 先進地視察(JA土佐あき)</p>	<p>四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知はた</p>	<p>◆無料職業紹介所 H26:1箇所 (北幡地域(西土佐)) →H31:2箇所 (幡東地域(中村)を増設) H27:1箇所 H28:2箇所 H29:2箇所</p>	<p>○農作業支援隊による農業労働力確保事業 * 【2,716千円】 (事業主体:JA高知はた) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無料職業相談所運営 農作業求人者と求職者のマッチング、フォローアップ ・作業支援チーム運営 農作業受託(堆肥散布、野菜・果樹収穫等)、機械リース 	-							

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成29年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算(取り組み)概要						
						農業分野					
						【農業:AP11】 (2)集出荷支援体制の充実					
						★集出荷拠点施設の設定、整備 ○集出荷の支援	【再掲】 ○ぶしゅかん普及推進事業 (実施主体: 四万十ぶしゅかん株式会社) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 5月~12月 ぶしゅかん集荷場施設整備(8月、9月一部整備完了) (洗浄ライン、搾汁機、濾過機、真空機等) 事業完了日: 平成29年12月15日 【再掲】 ○四万十栗生産・加工・販売促進再生事業 (実施主体: 株式会社しまん美野里) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 9月~ 栗の集出荷 【再掲】 ○ぶしゅかん集出荷支援事業 (実施主体: 四万十ぶしゅかん生産者組合) 地方創生推進交付金を活用 8~10月 集出荷支援(人件費等の補助) ※収穫体制として多機能事業所「アオ」と連携 集荷量: 18t(市内のみ)	四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知はた 大川筋振興組合 東富山を守る会	◆生産・出荷支援システム取組件数 H26: 5件 →H31: 5件(維持) H27: 5件 H28: 5件	○農産物の集出荷や生活支援を継続実施 (実施主体: 富山地域) ・中山間直接支払制度を活用 【再掲】 ○ぶしゅかん産地化推進事業 地方創生推進交付金を活用 ・集出荷支援事業(1,038千円) (四万十ぶしゅかん生産者組合) 【再掲】 ○四万十栗生産・加工・販売促進再生事業 (実施主体: 株式会社しまん美野里) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 ・栗の集出荷、縮間伐、新改植、選果機購入等 【再掲】 ○園芸作物等の集出荷を継続実施(西土佐地域) (実施主体: JA高知はた) 【再掲: 商工業分野と共通】 ○地域商社「株式会社西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連) (実施主体: 株式会社西土佐ふるさと市) 地方創生推進交付金を活用 ・産地化促進 ・商品の開発 ・外商活動 ・情報発信	
2 地元農畜産物の利用・販売促進											
1. 地元農畜産物の利用促進											
【農業:AP12】 (1)地元消費拡大に向けた取組みの強化	【農業:AP13】 (2)直販機能の強化										
2. ブランド化の確立と販売促進											
【農業:AP14】 (1)ブランド化の推進	【農業:AP15】 (2)地元農畜産物を使った商品の開発・販売										
3. 有機農業の推進											
【農業:AP16】 (1)有機農産物の販路開拓・拡大											
【農業:AP17】 (2)有機農業の普及・啓発活動の推進											
○有機農業の普及・啓発	【再掲】 ○有機農業等総合支援事業 化学肥料に頼らない土作りのため、市内の家畜ふん堆肥や有機物堆肥の施用の経費やその散布を支援し、循環型農業を推進 ・堆肥等有機物利用促進 4月~9月実績 1件 【再掲】 ○集落営農支援事業(ソフト事業) 11月 先進地視察(広島県) 2組織3名、3集落6名参加 1月 先進地視察(香美市) 8組織12名、2集落3名参加	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 環境にやさしい農業のための研究会 生産者	◆四万十川のブランドイメージにマッチした有機農業が推進され、消費者からの支持が集まり、農産物の高付加価値が高まっている ◆有機農業等総合支援事業実施面積 H26: 11.5ha → H31: 12ha H27: 13.2ha H28: 12.8ha	【再掲】 ○有機農業等総合支援事業 ・化学肥料に頼らない土作りのため、市内の家畜ふん堆肥や有機物堆肥の施用にかかる経費やその散布を支援し、循環型農業を推進 【再掲】 ○集落営農支援事業(ソフト事業) ・先進地視察(組織化への誘導、既存組織へのフォローアップ・支援) ○環境にやさしい農業のための研究会との連携							

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成29年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算(取り組み)概要						
						農業分野					
						3 担い手の確保・育成					
						1. 新規就農者の確保・育成					
【農業:AP18】 (1) 新規就農者の研修支援											
○新規就農者の確保・育成 ◎新規就農者に対する農地提供促進	○新規就農研修支援事業 研修生手当、受入農家等研修補助金を交付 ・受入農家(中村地域) 4月～ 研修生3名受入 7月 1名就農開始 9月 1名あぐりっこへ 3月 1名就農開始 ・四万十農園あぐりっこ(中村地域) 4月～ 研修生1名受入(7月から就農開始) 9月～ 研修生1名受入 ・西土佐農業公社 4月～ 研修生2名(うち、1名が2月から就農開始) ○農地等の斡旋 ・空き農地、空きハウス情報収集・提供(中村地域) ・西土佐農業連絡会遊休ハウスマッチング部会 遊休ハウスデータ公表、マッチング、データ更新	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 四万十農園あぐりっこ 西土佐農業公社 JA高知はた	◆新規就農者数 H31:3人/年 H27:3人/年 H28:2人/年 H29:4人/年		○新規就農研修支援事業 * 【4,100千円】 ・研修生手当(継続1名、新規2名) ・受入農家等研修補助金(継続2名、新規1名) ○四万十農園あぐりっこ運営費 * 【8,959千円】 ○営農指導拠点施設(西土佐農業公社)運営費 * 【12,730千円】 ・営農指導拠点施設管理 ・研修生受入れ(3名。継続1名、新規2名) ○農地の斡旋 - ・空き農地、ハウス情報収集(中村地域) ・JA、県、市で役割分担を行い空きハウスのマッチングを実施(西土佐地域)						
【農業:AP19】 (2) 新規就農支援体制の拡充											
○相談支援体制の充実 ○経営安定への支援 ◎就農開始時の支援	○新農業人フェア出展 1月大阪、2月東京 ○新規就農支援チームによるトータルサポート ・経営計画作成支援等(2名実施) ・営農指導、経営指導、事業導入、資金利用計画等のサポート ・サポート体制の確立 ○農業次世代人材投資資金(経営開始型)交付 継続対象者:11名、新規対象者4名 ○中山間農業複合経営拠点整備事業 (実施主体:西土佐農業公社) ・野菜半自動移植機整備1台(補助金額:419千円) ・移動式雨よけハウス1棟・10a(補助金額:556千円)	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 四万十農園あぐりっこ 西土佐農業公社 JA高知はた	◆新規就農者数 H31:3人/年 H27:3人/年 H28:2人/年 H29:4人/年		○農業次世代人材投資資金事業 * 【26,096千円】 ・就農相談会への参加 新農業人フェア出展(東京1回、大阪1回) ・就農初期段階の青年就農者への経営支援 継続対象者:12名、新規対象者:5名 【再掲】 ○レンタルハウス整備事業 【30,036千円】 ・新規就農区分1件 20,283,000円(ピーマン) ○就農相談・経営安定化支援 - ・就農支援チームによるトータルサポート 営農指導、経営指導、事業導入、資金利用計画等 ○中山間農業複合経営拠点整備事業 * 【1,689千円】 ・移動式雨よけハウス(1棟・10a)【補助金額:764千円】 ・堆肥散布機(自走積込式)【補助金額:925千円】						
【農業:AP20】 (3) 移住促進による新規就農支援											
◎移住就農者の誘致活動の強化 ◎Iターン(夫婦就農)者に対する支援拡充	【再掲】 ○新農業人フェア出展 1月大阪、2月東京	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 四万十農園あぐりっこ 西土佐農業公社 JA高知はた	◆新規就農者数 H31:3人/年 H27:3人/年 ※移住夫婦研修者含む H28:2人/年 H29:4人/年		【再掲】 ○農業次世代人材投資資金事業 【26,096千円】 ・就農相談会への参加【270千円】 新農業人フェア出展(東京1回、大阪1回)						
2. 認定農業者等の育成											
【農業:AP21】 (1) 認定農業者制度の周知強化											
○今後育成すべき農業者の把握、誘導	○経営所得安定対策推進事業 経営所得安定対策の受付時にナラシ対策について説明と誘導 5月 中村地域:6回、西土佐:3回	四万十市 (農林水産課・産業建設課)	◆認定農業者数 H25:127人 → H31:150人		○人・農地問題解決加速化支援事業 * 【153千円】 ・人・農地プラン地区座談会等で中心経営体の経営状況を把握し誘導しプランの見直しを行う						

※主要内容:★は新規、◎は拡充、○は継続

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成29年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算(取り組み)概要	
						農業分野
						○認定農業者制度の周知徹底
						○人・農地問題解決加速化支援事業 1～2月 人・農地プラン地区座談会等で中心経営体の経営状況を把握し、プランの見直し(中村地域) 11月 人・農地プラン地区座談会(6ヶ所)において情報収集するとともに認定農業者制度を周知、誘導(西土佐地域) ○認定農業者制度 ・5年経過の更新認定⇒1件(中村地域:9月予定) ・新規認定⇒8件(中村地域) ・新規就農者へ制度説明・誘導(全域:随時)
【農業:AP22】 (2)認定農業者等のフォローアップの強化						
◎認定農業者等のフォローアップの強化	○認定農業者のフォローアップ 6月 認定農業者への「農業経営塾」開講の案内 9月 再認定者の計画策定支援(中村地域:1件) 10月 全国担い手サミットinこうちへ参加(高知市会場:12名、四万十市会場:40名) 2月 高知県農業担い手サミット(高知市)へ参加(4名) 3月 西土佐地域認定農業者連絡協議会総会開催 H26新規就農者と個別面談(西土佐地域) 12～3月 再認定者の農業経営改善計画作成支援(中村地域18名、西土佐3名) 随時 H26新規認定者へのフォローアップ ○スーパーL資金利子補給 8月 スーパーL資金上半期利子補給(中村1件、西土佐1件) 2月 スーパーL資金下半期利子補給(西土佐2件)	四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知はた 認定農業者連絡協議会	◆認定農業者数 H25:127人 → H31:150人 H27:135人 H28:133人 H29:142人(予定)		○担い手育成・確保対策事業 ・認定農業者のフォローアップ * 【430千円】 ○農業後継者育成支援(西土佐地域) * 【70千円】 ・評議会において農業後継者育成のための各種事業の検討及び実施 ○農業経営基盤強化資金(スーパーL資金)利子補給 * 【18千円】	
【再掲】 3. 集落営農の推進						
【農業:AP8】 (1)集落営農の組織化、法人化の支援	【農業:AP9】 (2)こうち型集落営農の実践					
4 農地の利用促進						
1. 農地の利用調整						
【農業:AP23】 (1)農地利用の円滑化						
○農地中間管理機構の活用 ◎地域の農業委員による農地の利用調整	○農地中間管理事業 田野川甲地区、藤岡地区、竹島地区等で中間管理事業実施に向けた農地の掘り起こし ・上半期で掘り起こした農地の中間管理権設定 ・中間管理権設定農地の受け手への配分 ・上記農地に対する機構集積協力金交付 ○農業委員による農地の利用調整 9月 農地パトロールの実施 10月～ 利用意向調査実施 12月 利用意向調査結果の取りまとめ結果(機構利用希望データ)の機構への引き渡し	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 農業委員会	◆営農類型に応じた農地集積、農地利用の円滑化(流動化)が促進されている		○農地中間管理事業(農地流動化促進事業を含む) * 【247千円】 ・農地中間管理機構(県農業公社)と連携した農地の集団化と担い手の育成 ・事業制度の周知 ・農地の出し手の掘り起こし(対象地域:市内全域) ○農業委員による農地の利用調整 ・利用意向調査の実施 ・農地パトロール(空き農地情報の収集)	

分野	戦略の柱	平成29年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算(取り組み)概要
	施策					
	アクションプラン					
	主要内容					
農業分野						
	【農業:AP24】 (2) 営農類型等に応じた農地の集積					
	○農業振興地域整備計画の全体見直し ○人・農地プラン作成、更新の支援 ○新規参入、品目転換における適地誘導	○農業振興地域整備計画の見直し 整備計画の定期見直し(5年毎)により、計画の見直しを実施 ○人・農地問題解決加速化支援事業 1~2月 人・農地プラン地区座談会等で中心経営体の経営状況を把握し、プランの見直し 11月 人・農地プラン地区座談会(6ヶ所)において情報収集するとともに認定農業者制度を周知、誘導(西土佐地域)	四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知はた	◆営農類型に応じた農地集積、農地利用の円滑化(流動化)が促進されている		【再掲】 ○人・農地問題解決加速化支援事業 ・人・農地プラン地区座談会等で中心経営体の経営状況を把握し誘導しプランの見直しを行う 【153千円】
	【農業:AP25】 (3) 基盤整備の推進					
	○入田地区整備 ○利岡、三里地区整備 ○その他の地区整備	○入田地区(H28補正、H29) ほ場整備工事 A=10.6ha(H28補正)、A=2.0ha(H29) 揚水施設工事 1式、実施計画委託、換地委託等 ○利岡地区(H28補正、H29) 進入路工事 1式、地形図作成、実施設計、環境調査、換地委託等 ○三里地区(H28補正、H29) ほ場整備工事 A=7.4ha(H28補正)、ハウス移転揚水施設等設計、換地委託等 揚水施設工事 1式(H29) 上記県営事業に伴う協議及び調整等 ○整備検討地区との協議を随時実施 既存整備地区終了後の基盤整備について随時検討協議(既存整備地区はH32頃整備完了予定)	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 地区組織	◆ほ場整備実施面積 H26:973ha → H31:1,052.5ha H27: 5.5ha(入田) 978.5ha(全体) H28: 10.7ha(入田) 989.2ha(全体) H29: 12.6ha(入田) 7.4ha(三里) 1,009.2ha(全体) ※各地区の全体面積 入田 A=35.6ha 利岡 A=25.1ha 三里 A=18.8ha		○入田地区整備(県営事業負担金)(H30当初:2,350千円* ・全体面積:35.6ha H30施工面積:4.0ha(H29補正) 平成30年度事業費150,000千円(負担金10%) 【2,350千円】 ○利岡地区整備(県営事業負担金)(H30当初:3,180千円* ・全体面積:25.1ha H30施工面積:3.5ha(H29補正、H30当初) 平成30年度事業費100,000千円(負担金10%) 【3,180千円】 ○三里地区整備(県営事業負担金) ・全体面積:18.8ha H30施工面積:7.3ha(H29補正)* 平成30年度事業費103,000千円(負担金10%) ※H29補正予算による前倒し額 計29,771千円 ○整備検討地区との協議を随時実施 既存整備地区終了後の基盤整備について随時検討協議(既存整備地区はH32頃整備完了予定)
2. 耕作放棄地対策						
	【農業:AP26】 (1) 耕作放棄地の再生及び発生防止対策					
	○耕作放棄地の再生 ○耕作放棄地の発生防止対策	○耕作放棄地の再生 農地利用意向調査による再生地情報の取得 農地パトロールによる再生地確認、耕作放棄地再生結果取りまとめ ○耕作放棄地の発生防止対策 6月 中山間直接支払事業説明会(西土佐地域) 多面的機能支払交付金説明会 中村地域:45組織77名、西土佐地域:32組織34名参加 7~8月 中山間直接支払協定組織ヒアリング(28組織、西土佐地域) 9月 中山間直接支払現地調査(中村、西土佐地域) ・多面的機能支払交付金(四万十市計) 交付予定額 109,174千円 交付組織数62組織 ・中山間地域等直接支払交付金(四万十市計) 交付予定額 87,633千円 交付組織数 48組織	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 農業委員会 集落協定組織 農地・水保全組織	◆中山間地域等直接支払制度の実施農地面積 H31:461.6haを維持 H27:458.3ha H28:458.8ha H29:508.6ha ◆多面的機能支払制度の実施農地面積 H31:1,513haを維持 H27:1,653ha H28:1,519ha		○耕作放棄地の再生 ・農業委員による農地パトロール(対象地域:市内全域) ○耕作放棄地の発生防止対策 ・中山間地域等直接支払交付金 * 【92,161千円】 (合同研修会開催ほか推進事務費含む) ・多面的機能支払交付金 * 【120,659千円】 (合同研修会開催ほか推進事務費含む)
	【農業:AP27】 (2) 適合品目の栽培促進					
	○適合品目の栽培促進	【再掲】 ○ぶしゅかん産地化・普及推進事業 地方創生推進交付金を活用 10月~ 新規定植(苗代補助)1,300本 240a 新規定植予定圃場現地確認 有害鳥獣対策用防護柵(設置費補助)774m 2月 新規定植予定者への定植前講習会	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 生産者	◆ぶしゅかん新植面積 H26:0.9ha→ H31:12ha H27:4.9ha H28:7.7ha H29:9.7ha ◆ゆず栽培面積 H26:42.5ha → H31:42.5haを維持 H27:42.5ha H28:42.5ha H29:42.5ha		【再掲】 ○ぶしゅかん産地化推進事業 地方創生推進交付金を活用 ・新規定植(苗代への補助) 1,000本 200a ・有害鳥獣対策用防護柵(設置費補助) 1,500m 【再掲】 ○水田転換ゆず定例会の開催 ・栽培指導、出荷検討

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成29年度の取り組み状況 <数量的に見える形で具体的に記載>	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算(取り組み)概要
林業分野					
1 四万十の山づくり					
1. 長期的視点に立った産地づくり					
【林業:AP1】					
(1) ヒノキ産地としての意識の醸成					
★ヒノキ産地としての市民意識の醸成 ◎森林所有者の意識の醸成	【再掲】 ○「四万十ヒノキの家」での見学・宿泊体験の実施 宿泊者 46組 延べ239名宿泊 (12月末現在) 見学者 170名 【再掲】 ○四万十ヒノキブランド化推進協議会 幹事会、総会、担当者会を開催 【再掲】 ○フェア等への参加 10月 高知もくもくランド2017秋まつり (主催:高知県木材普及推進協会、高知県) (出店:四万十ヒノキブランド化推進協議会) 11月 「幡多山もりフェス2017」 (主催:幡多山もりフェス実行委員会) (出店:㈱かわらっこ) ○提案型集約化施業の推進 森林組合、林業事業者で森林所有者へのアプローチ・啓発、提案型集約化施業への地権者合意形成を推進	四万十市 (農林水産課) 森林組合 林業事業者 四万十ヒノキブランド化推進協議会	◆市民、森林所有者へ品質に優れたヒノキ資源が全国有数であり、ヒノキ産地として森林整備の必要性が周知されているとともに、山(林業)や木材への関心が高まっている		【再掲:連携分野】 ○宿泊体験型モデルハウス管理費 【363千円】 ・「四万十ヒノキの家」での見学・宿泊体験の実施 【再掲:連携分野】 ○四万十ヒノキブランド化推進協議会負担金 【200千円】 ・「高知もくもくランド2018秋まつり」へ出展PR予定 【再掲:連携分野】 ○フェア等の開催 — ・「幡多山もりフェス2018」開催予定 (主催:幡多地域7森林組合が中心の実行委員会) 「四万十ヒノキの家」出店・PR ○提案型集約化施業の推進 — ・森林組合、林業事業者で森林所有者へのアプローチ・啓発、提案型集約化施業への地権者合意形成を推進
【林業:AP2】					
(2) 計画的な森林管理・経営の促進					
○森林資源の現状把握とデータ管理の徹底 ○経営類型の明確化	○施業をした森林の森林簿のデータ修正・管理 造林補助事業等により森林簿を随時更新 ○森林整備地域活動支援交付金事業 (H29年間計画) ・森林経営計画作成促進(経営委託型) 面積120ha ・森林経営計画作成促進(共同施業型) 面積260ha ・森林経営計画・施業集約化に向けた条件整備(路網整備):180ha ○林地台帳整備 10月～ 法務局の登記簿と森林簿を照合し、台帳を整備 ○森林経営計画の作成 林業事業者等が森林経営計画を作成し経営類型を明確化 計画変更2件(遠山産業、土佐建興) 新規計画6件(西土佐森林組合)	四万十市 (農林水産課) 森林組合 林業事業者	◆計画的な森林管理・経営に向け「森の工場」や森林経営計画が整備促進されている ◆「森の工場」の認定面積 H26:3,586ha → H31:4,000ha H27:3,834ha H28:3,318ha		○施業をした森林の森林簿のデータ修正・管理 — ・造林補助事業等により森林簿を随時更新 ○森林整備地域活動支援交付金事業 * 【8,080千円】 (H30年間計画) ・森林経営計画作成促進(経営委託型) 面積100ha ・森林経営計画作成促進(共同施業型) 面積250ha ・森林境界の明確化(境界の確認):80ha ・条件整備(路網整備):25ha ○林地台帳整備 台帳整備を行ったので経営計画等に役立てる ○森林経営計画の作成 ・林業事業者等が森林経営計画を作成し経営類型を明確化
【林業:AP3】					
(3) 提案型集約化施業の推進					
○森林所有者へのアプローチの強化 ○森林経営計画策定の促進	【再掲】 ○提案型集約化施業の推進 森林組合、林業事業者で森林所有者へのアプローチ・啓発、提案型集約化施業への地権者合意形成を推進 【再掲】 ○森林整備地域活動支援交付金事業 (H29年間計画) ・森林経営計画作成促進(経営委託型) 面積120ha	四万十市 (農林水産課) 森林組合 林業事業者	◆「森の工場」や森林経営計画が整備促進されている ◆「森の工場」の認定面積 H26:3,586ha → H31:4,000ha H27:3,834ha H28:3,318ha		【再掲】 ○提案型集約化施業の推進 ・森林組合、林業事業者で森林所有者へのアプローチ・啓発、提案型集約化施業への地権者合意形成を推進 【再掲】 ○森林整備地域活動支援交付金事業 (H30年間計画) 【8,080千円】 ・森林経営計画作成促進(経営委託型) 面積100ha

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成29年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算(取り組み)概要						
						分野					
						林業分野					
						○森の工場の推進					
	<ul style="list-style-type: none"> ・森林経営計画作成促進(共同施業型) 面積260ha ・森林経営計画・施業集約化に向けた条件整備(路網整備):180ha 				<ul style="list-style-type: none"> ・森林経営計画作成促進(共同施業型) 面積250ha ・森林境界の明確化(境界の確認): 80ha ・条件整備(路網整備): 25ha 						
	<ul style="list-style-type: none"> ○森の工場(協働の森づくり事業含む) 新規着手 <ul style="list-style-type: none"> ・板ノ川地区:間伐15.0ha作業道240m ・津野川地区:搬出間伐6.0ha、作業道500m 継続実施分 <ul style="list-style-type: none"> ・伊才原地区(蕨岡工区) <ul style="list-style-type: none"> 搬出間伐5.03ha、作業道697m(3,128千円) ・常六地区(セチオロシ) <ul style="list-style-type: none"> 搬出間伐6.0ha、作業道970m(4,242千円) ・西ヶ方地区(アヤマ):搬出間伐7.0ha、作業道1,200m 協働の森協定締結分 <ul style="list-style-type: none"> ・半家地区(半家宮の川)終了に伴う地区変更 <ul style="list-style-type: none"> 経営計画変更準備中(新規久保川地区森の工場) ・藤ノ川地区(岩間下甫喜):搬出間伐6.0ha、作業道1,000m ・九樹地区協働の森:搬出間伐9.5ha(4,614千円) ・富山西地区(西平山):搬出間伐19.0ha、作業道2400m 			<ul style="list-style-type: none"> ○森の工場(協働の森づくり事業含む) * 【53,775千円】 新規着手 <ul style="list-style-type: none"> ・久保川地区:間伐3.3ha作業道120m(準備中) 継続実施分 <ul style="list-style-type: none"> ・常六地区(セチオロシ): 搬出間伐7.0ha、作業道840m ・片魚地区: 搬出間伐15.0ha、作業道180m ・富山西地区: 搬出間伐18.7ha、作業道1440m ・伊才原地区(蕨岡工区):搬出間伐5.0ha、作業道960m ・西ヶ方地区(アヤマ):搬出間伐6.0ha ・津野川地区:搬出間伐16.0ha、作業道500m ・奥屋内地区:搬出間伐8.0ha、作業道900m ○協働の森協定締結分 <ul style="list-style-type: none"> ・藤ノ川地区(岩間高引地):搬出間伐6.1ha、作業道600m ・九樹地区:搬出間伐7.7ha、作業道240m ・板ノ川地区:搬出間伐7.0ha、作業道120m 							
2. 長伐期施業の推進											
【林業:AP4】 (1)長伐期施業方針の策定と普及啓発											
★長伐期施業方針の策定と普及啓発	○長伐期施業方針の策定(継続)	四万十市(農林水産課)	◆長伐期施業方針が広く認知されている		○長伐期施業方針の策定(継続) —						
【林業:AP5】 (2)長伐期施業技術(ノウハウ)の蓄積											
★市有林におけるモデル林の整備 ★長伐期施業の経営シュミレーションの検証	○市有林整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・搬出間伐大用楨の畝1.9ha(1,883千円) ・新植:10.06ha、鳥獣害防止ネット:1,685m(13,633千円) ・搬出間伐:9.1ha、保育間伐:10.6ha ・作業道整備:L=2,640m ・シカ食害防止ネット設置:10.0ha 	四万十市(農林水産課) 森林組合 林業事業者 四万十ヒノキブランド推進協議会	◆長伐期施業に関するノウハウ、技術体系が確立されている		○市有林整備事業 * 【33,247千円】 <ul style="list-style-type: none"> ・竹屋敷大駄馬:搬出間伐6.0ha ・住次郎ヒソヲ谷:搬出間伐5.0ha、作業道600m ・三里不町山ノ内 新植:10.0ha、鳥獣害防止ネット:1,960m、作業道500m ・西土佐津風呂山:保育間伐:16.0ha ・シカ食害防止ネット設置:9.0ha 						
【林業:AP6】 (3)長伐期施業技術(ノウハウ)の普及											
★長伐期施業の講習会等の開催	○長伐期施業の講習会を実施 (実施主体:四万十ヒノキブランド推進協議会) 9~11月 マーケティング等講習会	四万十市(農林水産課) 四万十ヒノキブランド推進協議会	◆長伐期施業に関するノウハウ、技術体系が確立され、普及している		【再掲:連携分野】 ○四万十ヒノキブランド推進協議会負担金 【200千円】 ・長伐期の講習会を実施予定						
3. 適切な皆伐、間伐による原木生産の拡大											
【林業:AP7】 (1)森林の特性に応じた皆伐、間伐の実践											
◎森林の特性に応じた皆伐、間伐の実践	【再掲】 ○市有林整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・搬出間伐大用楨の畝1.9ha(1,883千円) ・新植:10.06ha、鳥獣害防止ネット:1,685m(13,633千円) ・搬出間伐:9.1ha、保育間伐:10.6ha 	四万十市(農林水産課) 森林組合 林業事業者	◆原木生産量 H24:47,000m ³ → H31:60,000m ³ H25:75,573m ³ H26:93,790m ³		【再掲】 ○市有林整備事業 【33,247千円】 <ul style="list-style-type: none"> ・竹屋敷大駄馬:搬出間伐6.0ha ・住次郎ヒソヲ谷:搬出間伐5.0ha、作業道600m ・三里不町山ノ内 新植:10.0ha、鳥獣害防止ネット:1,960m、作業道500m 						

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成29年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算(取り組み)概要
林業分野	<ul style="list-style-type: none"> 作業道整備：L=2,640m シカ食害防止ネット設置：10.0ha 【再掲】 ○森の工場(協働の森づくり事業含む) 新規着手 <ul style="list-style-type: none"> 板ノ川地区：間伐15.0ha作業道240m 津野川地区：搬出間伐6.0ha、作業道500m 継続実施分 <ul style="list-style-type: none"> 伊才原地区(蕨岡工区) <ul style="list-style-type: none"> 搬出間伐5.03ha、作業道697m(3,128千円) 常六地区(セチオロシ) <ul style="list-style-type: none"> 搬出間伐6.0ha、作業道970m(4,242千円) 西ヶ方地区(アヤマ)：搬出間伐7.0ha、作業道1,200m 協働の森協定締結分 <ul style="list-style-type: none"> 半家地区(半家宮の川)終了に伴う地区変更 <ul style="list-style-type: none"> 経営計画変更準備中(新規久保川地区森の工場) 藤ノ川地区(岩間下雨喜)：搬出間伐6.0ha、作業道1,000m 九樹地区協働の森：搬出間伐9.5ha(4,614千円) 富山西地区(西平山)：搬出間伐19.0ha、作業道2400m 		H27:46,505㎡ (ﾊﾞｲﾏｽ除く)		<ul style="list-style-type: none"> 西土佐津風呂山：保育間伐：16.0ha シカ食害防止ネット設置：9.0ha ○森の工場(協働の森づくり事業含む) 【53,775千円】 新規着手 <ul style="list-style-type: none"> 久保川地区：間伐3.3ha作業道120m(準備中) 継続実施分 <ul style="list-style-type: none"> 常六地区(セチオロシ)：搬出間伐7.0ha、作業道840m 片魚地区：搬出間伐15.0ha、作業道180m 富山西地区：搬出間伐18.7ha、作業道1440m 伊才原地区(蕨岡工区)：搬出間伐5.0ha、作業道960m 西ヶ方地区(アヤマ)：搬出間伐6.0ha 津野川地区：搬出間伐16.0ha、作業道500m 奥屋内地区：搬出間伐8.0ha、作業道900m ○協働の森協定締結分 <ul style="list-style-type: none"> 藤ノ川地区(岩間高引地)：搬出間伐6.1ha、作業道600m 九樹地区：搬出間伐7.7ha、作業道240m 板ノ川地区：搬出間伐7.0ha、作業道120m ○緊急間伐総合支援事業 * 【2,923千円】 <ul style="list-style-type: none"> 公益林保全整備(搬出間伐)：5.0ha 森林整備支援(搬出間伐)：1.0ha 作業道：1,450m ○環境林整備事業(組合等が県へ直接申請) — <ul style="list-style-type: none"> 木材生産を目的とせず、森林の環境公益の発揮を目指す森林を「環境林」と定め、切捨て間伐を実施
【林業:AP8】 (2) 施業の効率化と低コスト化					
<ul style="list-style-type: none"> ○作業道や林業機械導入への支援 ○林内路網の維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> 【再掲】 ○市有林整備事業 <ul style="list-style-type: none"> 作業道整備：L=2,640m 【再掲】 ○森の工場(協働の森づくり事業含む) 新規着手 <ul style="list-style-type: none"> 津野川地区：作業道500m 継続実施分 <ul style="list-style-type: none"> 伊才原地区(蕨岡工区)：作業道697m(3,128千円) 常六地区(セチオロシ)：作業道970m(4,242千円) 西ヶ方地区(アヤマ)：作業道1,200m 【再掲】 協働の森協定締結分 <ul style="list-style-type: none"> 藤ノ川地区(岩間下雨喜)：作業道1,000m 半家地区(半家宮の川)終了に伴う地区変更 <ul style="list-style-type: none"> 新規久保川地区森の工場へ：作業道120m 富山西地区(西平山)：作業道2400m 板ノ川：作業道240m(実施中) ○高性能林業機械導入・地域林業総合支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 林業事業者の高性能機械の導入支援(森林づくりタイプ) <ul style="list-style-type: none"> ハーベスター導入(1台：8,217千円) ○緊急間伐総合支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 作業道：1,068m(1,669千円) 	四万十市(農林水産課) 森林組合 林業事業者	<ul style="list-style-type: none"> ◆効率的な作業システムによる施業の低コスト化が進んでいる ◆作業道開設実績延長累計 <ul style="list-style-type: none"> H25:709,795m → H31:790,000m H26:739,719m H27:766,252m 		<ul style="list-style-type: none"> 【再掲】 ○市有林整備事業 【3,960千円】 <ul style="list-style-type: none"> 作業道整備：L=1,100m 【再掲】 ○森の工場(協働の森づくり事業含む) 【5,285千円】 新規着手 <ul style="list-style-type: none"> 久保川地区：作業道120m(準備中) 継続実施分 <ul style="list-style-type: none"> 常六地区(セチオロシ)：作業道840m 片魚地区：作業道180m 富山西地区：作業道1440m 伊才原地区(蕨岡工区)：作業道960m 津野川地区：作業道500m 奥屋内地区：作業道900m ○協働の森協定締結分 <ul style="list-style-type: none"> 藤ノ川地区(岩間高引地)：作業道600m 九樹地区：作業道240m 板ノ川地区：搬出間伐7.0ha、作業道120m ○高性能林業機械導入・地域林業総合支援事業 * 【12,025千円】 <ul style="list-style-type: none"> (H29補正分：ハーベスター導入1台) ○緊急間伐総合支援事業 【2,340千円】 <ul style="list-style-type: none"> 作業道：1,450m ○ふるさと暮らし支援事業(作業道の改良・舗装) * 【2,500千円】 <ul style="list-style-type: none"> 林道舗装資材：8路線(総延長=690m、2,500千円)

分野		平成29年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算(取り組み)概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン						
主要内容						
林業分野						
		<ul style="list-style-type: none"> ○ふるさと暮らし支援事業(作業道の改良・舗装) <ul style="list-style-type: none"> ・(上半期)林道舗装資材:2路線(総延長=120m、400千円) ・(上半期)林道舗装資材:1路線(総延長=80m、500千円) ・(下半期)林道舗装資材:3路線(総延長=125m、600千円) ・(下半期)作業道整備:2路線(総延長=1,420m) ○林道・作業道維持補修 <ul style="list-style-type: none"> ・維持工事3件発注済(351千円、281千円、951千円) ・10月以降 維持工事1件発注 				<ul style="list-style-type: none"> ○林道・作業道維持補修 * 【7,887千円】 <ul style="list-style-type: none"> ・維持工事3件他
	【林業:AP9】 (3)低コスト再造林、育林の実践					
	◎低コスト再造林、育林の実践 ◎防護柵の設置と捕獲の促進	<ul style="list-style-type: none"> ○防護柵設置(県補助) 内示額 998千円 延長 L=4,020m ○国防護柵設置 (事業主体:四万十市有害鳥獣被害対策協議会) 内示額:柵 78,134千円、ソフト事業(檻、カメラ)2,000千円 15地区、柵 L=29,680m、うち51,192千円発注 <ul style="list-style-type: none"> ・中山間所得向上7地区 ○有害鳥獣捕獲報奨金による捕獲 1月末現在 <ul style="list-style-type: none"> ・捕獲頭数:シカ 1,956頭 イノシシ 1,501頭 サル 73頭 ハクビシン 247頭 	四万十市(農林水産課) 森林組合 林業事業体 四万十市有害鳥獣被害対策協議会	<ul style="list-style-type: none"> ◆低コスト再造林、育林のノウハウ、技術体系の確立が進んでいる ◆シカの捕獲頭数 H26:4,446頭 → H31:6,000頭 H27:4,055頭 H28:3,151頭 	<ul style="list-style-type: none"> ○鳥獣被害防除対策事業(防護柵設置ほか) * 【2,650千円】 ○国防護柵設置 (事業主体:四万十市有害鳥獣被害対策協議会) <ul style="list-style-type: none"> ・国へ要望中 ○有害鳥獣捕獲報奨金による捕獲 * 【78,602千円】 <ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣被害対策実施隊員報酬(200千円) ・年間計画:シカ 3,700頭 イノシシ 1,800頭 サル 100頭 ハクビシン 400頭 カワウ 500羽 ○くくりわな購入補助【2,000千円】 * 【2,000千円】 	
	4. 林業事業体や担い手の確保、育成					
	【林業:AP10】 (1)林業事業体及び林業技術者の育成支援					
	○林業事業体、林業技術者の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○「緑の雇用」事業 新規雇用5人(内、緑の雇用5人) <ul style="list-style-type: none"> ・新規雇用者5人(森林組合4人、林業事業体1人) ・2年目雇用者5人(森林組合4人、林業事業体1人) ・3年目雇用者4人(森林組合4人、林業事業体0人) ※参考:卒業生雇用者(H21~H26:H29.8現在) 森林組合10人、林業事業体10人 【再掲】 ○市有林整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・搬出間伐大用楨の畝1.9ha(1,883千円) ・新植:10.06ha、鳥獣害防止ネット:1,685m(13,633千円) ・搬出間伐:9.1ha、保育間伐:10.6ha ・作業道整備:L=2,640m ・シカ食害防止ネット設置:10.0ha 	四万十市(農林水産課) 森林組合 林業事業体 四万十ヒノキブランド推進協議会 幡多林業活性化センター	<ul style="list-style-type: none"> ◆経営能力の高い森林組合、林業事業体が効率的な生産活動を展開している ◆効率的な林業生産活動を行うことができる優れた担い手が育成されている ◆新規林業就業者数 → 3人/年 H27:7人/年 H28:5人/年 	<ul style="list-style-type: none"> ○「緑の雇用」事業 新規雇用5人(内、緑の雇用5人)予定 【再掲:連携分野】 ○幡多流域林業活性化センター負担金 【85千円】 <ul style="list-style-type: none"> ・林業技術研修予定 【再掲】 ○市有林整備事業 【33,247千円】 <ul style="list-style-type: none"> ・竹屋敷大駄馬:搬出間伐6.0ha ・住次郎ヒソヲ谷:搬出間伐5.0ha、作業道600m ・三里不町山ノ内 新植:10.0ha、鳥獣害防止ネット:1,960m、作業道500m ・西土佐津風呂山:保育間伐:16.0ha ・シカ食害防止ネット設置:9.0ha 【再掲】 ○環境林整備事業(組合等が県へ直接申請) <ul style="list-style-type: none"> ・木材生産を目的とせず、森林の環境公益の発揮を目指す森林を「環境林」と定め、切捨て間伐を実施 ・森林組合の事業量(収益)の確保 	
	○森林組合の経営力強化	<ul style="list-style-type: none"> ○環境林整備事業(組合等が県へ直接申請) <ul style="list-style-type: none"> ・木材生産を目的とせず、森林の環境公益の発揮を目指す森林を「環境林」と定め、切捨て間伐を実施 ・森林組合の事業量(収益)の確保 				

分野	戦略の柱	平成29年度の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算(取り組み)概要
	施策					
	アクションプラン					
	主な内容					
林業分野						
【林業:AP11】 (2) 森林保育等の活動グループへのアプローチ						
★兼業型林業事業者の育成支援	【再掲】 ○林地残材の搬出促進 バイオマス証明書発行15件 (うち公共事業関係10件) 12月末: 375.84㎡ ○高性能林業機械等整備事業 (レンタルタイプ) ・2件 (329千円、バックフォー)	四万十市 (農林水産課) 兼業型林業事業者	◆林業生産活動を行う多様な担い手が育成されている		【連携分野:再掲】 ○林地残材の搬出促進 ・バイオマス証明書発行 【再掲】 ○高性能林業機械等整備事業 (レンタルタイプ) ・林業事業者の要望を取りまとめ県へ要望中	
【林業:AP12】 (3) 自伐林家及び集落組織等の育成						
★自伐林家及び集落組織等の育成	【再掲】 ○林地残材の搬出促進 バイオマス証明書発行15件 (うち公共事業関係10件) 12月末: 375.84㎡ ○森林・山村の多面的機能発揮対策交付金事業 ・11組織申請 里山保全活動:84.5ha 侵入竹除去:3ha 森林資源利用:7.4ha 森林機能強化:L=1,000m (作業道整備) 資機材:2件 教育研修:12回 10月～ 内示のあった7組織が実施 里山保全活動:48.9ha 森林資源利用:0.5ha 森林機能強化:L=650m	四万十市 (農林水産課) 自伐林家等	◆林業生産活動を行う多様な担い手が育成されている		【再掲】 ○林地残材の搬出促進 ・バイオマス証明書発行 ○森林・山村の多面的機能発揮対策交付金事業 * 【1,092千円】 (予算額は市費上乘せ分) ・活動組織要望予定:7組織 支援取組活動・・・里山保全 (47.6ha) 森林資源利用 (3.5ha) 森林機能強化 (作業道:L=700m)	
2 供給体制の強化						
1. 加工事業者の生産力等強化						
【林業:AP13】 (1) 木材製品の生産の拡大・商品力の強化	【林業:AP14】 (2) 木工製品の生産の拡大・商品力の強化					
2. 供給体制の効率化						
【林業:AP15】 (1) 市産材製品ストック施設整備						
★市産材製品のストック施設整備		四万十市 (農林水産課)	◆市産材製品ストック施設整備→H31:整備			
【林業:AP16】 (2) 山元選別の促進による流通経費の削減						
★山元選別の促進による流通経費の削減		四万十市 (農林水産課) 森林組合 林業事業者 製材加工事業者	◆流通の効率化が進み、市産材の流通量が拡大している			
【林業:AP17】 (3) 木材流通ネットワークの構築						
3 市産材の利用促進と販売力の強化						
1. 市産材の利用促進						
【林業:AP18】 (1) 公共建築等での市産材の率先利用						

分野		平成29年度の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算(取り組み)概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン 主な内容						
林業分野						
	【林業:AP19】 (2) 木造住宅の建築促進					
	【林業:AP20】 (3) 木造化、木質化への情報発信、普及、啓発の強化					
	2. 木質バイオマス利用促進					
	【林業:AP21】 (1) 林地残材等の搬出の促進	【林業:AP22】 (2) 木質バイオマス利用設備の普及促進				
	3. 四万十ヒノキブランドの確立と販売力の強化					
	【林業:AP23】 (1) 四万十ヒノキブランドの確立	【林業:AP24】 (2) 四万十ヒノキ製品の生産拡大、商品力の強化	【林業:AP25】 (3) 四万十ヒノキ製品の販売力の強化			
4 健全な森づくり						
1. 人と鳥獣の良好・適切な環境づくり						
	【林業:AP26】 (1) 鳥獣被害対策					
	【再掲】 ◎防護柵の設置と捕獲の促進	【再掲】 ○防護柵設置(県補助) 内示額 998千円 延長 L=4,020m 【再掲】 ○国防護柵設置 (事業主体:四万十市有害鳥獣被害対策協議会) 内示額:柵78,134千円、ソフト事業(檻、カメラ)2,000千円 15地区、柵 L=29,680m、うち51,192千円発注 ・中山間所得控除7地区 内示額60,000千円 【再掲】 ○有害鳥獣捕獲報奨金による捕獲 1月末現在 ・捕獲頭数:シカ 1,956頭 イノシシ 1,501頭 サル 73頭 ハクビシン 247頭	四万十市(農林水産課) 四万十市有害鳥獣被害対策協議会	◆シカの捕獲頭数 H26:4,446頭 → H31:6,000頭 H27:4,055頭 H28:3,151頭	【再掲】 ○鳥獣被害防除対策事業(防護柵設置ほか) 【2,650千円】 【再掲】 ○国防護柵設置 (事業主体:四万十市有害鳥獣被害対策協議会) ・国へ要望中 【再掲】 ○有害鳥獣捕獲報奨金による捕獲 【78,602千円】 ・鳥獣被害対策実施隊員報酬 ・年間計画:シカ 3,700頭 イノシシ 1,800頭 サル 100頭 ハクビシン 400頭 カワウ 500羽 【再掲】 ○くくりわな購入補助【2,000千円】 【2,000千円】	
	【林業:AP27】 (2) 捕獲の担い手確保、育成					
	◎捕獲の担い手の確保、育成	○新規狩猟者の確保 市広報7・11月号でPR ○新規狩猟者免許試験予備講習会受講料補助金 利用者7名 ○新規狩猟者射撃教習受講料補助 利用者1名	四万十市(農林水産課) 猟友会	◆シカの捕獲頭数 H26:4,446頭 → H31:6,000頭 H27:4,055頭 H28:3,151頭	○新規狩猟者の確保 ・広報でPR予定 ○新規狩猟者免許試験予備講習会受講料補助金 * 【175千円】 ・年間利用者数見込み:25人 ○新規狩猟者射撃教習受講料補助 * 【185千円】 ・年間利用者数見込み:5人 【再掲】 ○くくりわな購入補助 【2,000千円】	
2. 森のものの活用						
	【林業:AP28】 (1) 特用林産物の生産活動の支援とPR					
	◎特用林産物の生産活動への支援とPR ★新規就業者の育成	○特用林産物の生産活動支援 椎茸原木購入補助(取りまとめ中) ○四万十備長炭事業化への取り組み ・カシを使用した白炭の試作品を製造しながら品質向上を図る ・ふるさと納税商品について事業者と協議	四万十市(農林水産課)	◆特用林産物(しいたけ、木炭)生産量 H25:48,466kg → H31:55,000kg H26:29,784kg H27:31,178kg	○四万十備長炭事業化への取り組み ・カシを使用した白炭の試作品を製造しながら品質向上を図る	

分野	戦略の柱	施策	アクションプラン	主要内容	平成29年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算(取り組み)概要
水産業分野									
1 水産資源の回復・生産量UP									
1. 天然水産資源の回復・増殖									
【水産AP1】									
(1) 漁場環境、資源量等の調査・研究									
◎漁場環境、資源量等の調査・研究	◎調査結果の広報活動	○高知大学連携事業による調査等 (事業主体: 四万十市・高知大学連携事業推進会議) 地方創生推進交付金を活用 ・天然スジアオノリ生産量アップの取り組み 河川環境調査(毎月) 生態・生育調査(毎月) 10月 調査結果報告会 ・天然アユの資源回復の取り組み 10月 調査結果報告会 10月～ 産卵場調査 10月～ 浮遊期仔魚(河口・海域)調査 10月～ 生育場(下流域)調査、水質調査 ○四万十川漁業振興協議会補助金 4月～ アユの冷水病調査(月1回)	四万十市(農林水産課) 四万十市・高知大学連携事業推進会議 四万十川漁業振興協議会 漁業協同組合	◆漁場環境や資源量等の継続的な把握と減少要因の分析が進み、漁業者と情報が共有され、天然資源の回復・増殖に向け関係者が連携した取り組みが進んでいる	○高知大学連携事業による調査等 * 【3,940千円】 (事業主体: 四万十市・高知大学連携事業推進会議) 地方創生推進交付金を活用 ・天然スジアオノリ生産量アップの取り組み 河川環境調査(毎月) 生態・生育調査(毎月) 調査結果報告会開催 ○四万十川漁業振興協議会補助金 * 【150千円】 ・アユの冷水病調査				
【水産AP2】									
(2) 生育・漁場環境の保全・整備									
○スジアオノリ生育・漁場環境の保全・整備	○アユの産卵場の再生と保全管理	○イセエビ漁礁設置による漁場整備	○国土交通省・四万十川自然再生協議会による整備 ・四万十川自然再生事業 アユの瀬づくり、魚のゆりかごづくりを推進(漁協と調整中) ○スジアオノリ漁場整備支援 (事業主体: 四万十川下流漁業協同組合) ・12月～1月 河川形状整備	四万十市(農林水産課) 四万十川自然再生協議会 漁業協同組合	◆内水面漁業漁獲量 H24:56t→H31:65t H25:66t H26:65t H27:62t ◆海面漁業漁獲量 H24:30t→H31:35t H25:24t H26:22t H27:17t	○国土交通省・四万十川自然再生協議会による整備 ・四万十川自然再生事業 アユの瀬づくり、魚のゆりかごづくりを推進(漁協と調整中) ○スジアオノリ漁場整備支援 * 【400千円】 (事業主体: 四万十川下流漁業協同組合) ・河川形状整備等 ○イセエビ漁場整備(投石) * 【3,700千円】			
2. 栽培漁業の推進									
【水産AP3】									
(1) 効果的な種苗放流の推進									
★効果的な放流技術の確立	○内水面資源の種苗放流	○沿岸資源の種苗放流	○稚アユ等放流補助金 (事業主体: 四万十川中央漁業協同組合) 稚アユ 1,200kg ツガニ 3,000匹 うなぎ放流 74.06kg ○稚アユ等放流補助金 (事業主体: 四万十川西部漁業協同組合) 稚アユ 500kg うなぎ放流 58.76kg アメゴ放流 20kg ツガニ 2,000匹 ○四万十川下流漁協(独自) 稚アユ 40kg うなぎ放流 29.36kg ○ヒラメ稚魚放流補助金 (事業主体: 下田漁業協同組合) ヒラメ放流 4,300匹	四万十市(農林水産課) 漁業協同組合	◆内水面・沿岸資源の種苗放流 H31:維持	○稚アユ等放流補助金 * 【2,500千円】 (事業主体: 四万十川中央漁業協同組合) ・稚アユ放流 ・ツガニ放流 ・ウナギ放流 ○稚アユ等放流補助金 * 【1,256千円】 (事業主体: 四万十川西部漁業協同組合) ・稚アユ放流 ・ツガニ放流 ・アメゴ放流 ・ウナギ放流 ○ヒラメ稚魚放流補助金 * 【250千円】 (事業主体: 下田漁業協同組合) ・ヒラメ稚魚放流			

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成29年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算(取り組み)概要						
						水産業分野					
						【水産AP4】 (2)アオサの生産拡大					
						★区画あたりの生産拡大 ★新たな漁場の開拓と新規参入の促進 ◎生産・品質管理の徹底	【再掲】 ○四万十川漁業振興協議会補助金 環境調査(水温、塩分濃度の計測) ○下流漁協においてアオサ(ヒトエグサ)、スジアオノリの生産工程(洗い・選別)の均一化と品質管理の徹底を指導 11月以降収穫時に実施	四万十市(農林水産課) 四万十川漁業振興協議会 四万十川下流漁業協同組合	◆安定した生産量と品質が確保され、入札業者の増加と高値安定が確保されている ◆内水面漁業漁獲量 H24:56t→ H31:65t H25:66t H26:65t H27:62t		【再掲】 ○四万十川漁業振興協議会補助金 ・栽培環境調査(水温、塩分濃度の計測) 【150千円】
【水産AP5】 (3)スジアオノリの栽培技術の研究と実践											
★スジアオノリの栽培技術の研究と実践	○スジアオノリ自然栽培推進事業 (事業主体:四万十川下流漁業協同組合) 地方創生推進交付金を活用 ・浮かし網による自然栽培 平成29年度生産目標400kg 10月～ スジアオノリ種付け作業 11月～ 浮かし網による自然栽培開始 (養殖網(縦18m×横1.2m)延べ247枚河川設置) 2/1時点 1月～ 収穫開始 2月中旬時点で50kg収穫済	四万十市(農林水産課) 四万十市・高知大学連携事業推進会議 四万十川下流漁業協同組合	◆スジアオノリ自然栽培生産量 H31:5t H28:-t		○スジアオノリ自然栽培推進事業 * 【12,278千円】 (事業主体:四万十川下流漁業協同組合) 地方創生推進交付金を活用 浮かし網による自然栽培の実践						
3. 地域に根差した資源管理の仕組みづくり											
【水産AP6】 (1)漁場利用の新たなルールづくり											
★漁場利用のための新たなルールづくり	○エビ資源保護の協議 (実施主体:四万十川漁業振興協議会) 7月 総会で意見交換 7月 県漁業管理課と協議 11月 てながえび類の採捕禁止の指示(県内水面漁場管理委員会) (禁漁期間:平成30年9月1日～平成31年3月31日)	四万十市(農林水産課) 四万十川漁業振興協議会	◆市民、漁業者の意識と機運が高まり、資源管理の取組みが進んでいる		○エビ資源保護の協議 (実施主体:四万十川漁業振興協議会)						
【水産AP7】 (2)資源保護のための情報発信の強化											
◎資源保護のための情報発信の強化	○禁漁期間の周知と資源保護の啓発 海面漁業禁漁期間についてチラシを全戸配布 【再掲】 ○高知大学連携事業による調査等 (事業主体:四万十市・高知大学連携事業推進会議) 地方創生推進交付金を活用 ・天然スジアオノリ生産量アップの取組み 河川環境調査(毎月) 生態・生育調査(毎月) 10月 調査結果報告会 ・天然アユの資源回復の取組み 10月 調査結果報告会	四万十市(農林水産課) 漁業協同組合 高南幡東漁業秩序を守る会(海面漁業)	◆市民、漁業者の意識と機運が高まり、資源管理の取組みが進んでいる		○禁漁期間の周知と資源保護の啓発 ○高南・幡東地区漁業秩序を守る会負担金 * 【80千円】 【再掲】 ○高知大学連携事業による調査等 【3,940千円】 (事業主体:四万十市・高知大学連携事業推進会議) 地方創生推進交付金を活用 ・天然スジアオノリ生産量アップの取組み 河川環境調査(毎月) 生態・生育調査(毎月) 調査結果報告会開催						

分野	戦略の柱	施策	アクションプラン	主な内容	平成29年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算(取り組み)概要
水産業分野	4. 担い手の確保、育成	【水産AP8】 (1) 協業化の促進	★協業化の促進			四万十市 (農林水産課) 漁業協同組合	◆漁業協同組合や漁業者間の連携が促進され、協業化の動きが生まれている		
		【水産AP9】 (2) 新規就業者のための研修・フォローアップ	★講習会、研修会の開催 ◎受入漁家による研修制度の拡充 ★フォローアップ体制の確立			四万十市 (農林水産課) 漁業協同組合	◆漁業体験研修の受講者数 H27~H31の5年間で3人 H27: 1人 H28: 1人		○県と連携した講習会、研修会等への参加促進 ○地域おこし協力隊 (内水面漁協等振興) ○鮎市場を拠点にしながら、伝統漁法の継承及び商品開発等を実施。学んだ技術を地域の若者等へ普及
	2 水産物の加工、販売促進	1. 水産物の高付加価値化の推進	【水産AP10】 (1) 今ある商品の磨き上げ	【水産AP11】 (2) 新たな商品開発					
		2. 販売力の強化と販路拡大	【水産AP12】 (1) 漁協の販売力の強化	【水産AP13】 (2) ブランド力の強化と販路拡大					
		3. 魚食文化の磨き上げと発信	【水産AP14】 (1) 魚食文化の磨き上げ	【水産AP15】 (2) 魚食文化の発信強化					
	3 水産資源を活用した交流の拡大	1. 体験交流の推進	【水産AP16】 (1) 魅力ある体験商品づくり						
			★体験商品の磨き上げ ★川の体験ガイドブックの作製	○川漁体験学習等 5月 アユ放流体験 (藤岡小学校) 5月 ヒラメ放流体験 4,300匹 (下田小学校) 7月 アユしゃくり漁体験 (大用小中学校) ○カワガキ教科書改訂 (発行: 四万十川財団) ○川降りマップ作成 (西土佐地域) 8月 日本語版10,000部 英語版 5,000部 (製作中)		四万十市 (農林水産課・産業建設課) 漁業協同組合	◆体験・宿泊等のプラン 造成件数 H31: 10アイテム H27: 3アイテム ※漁業体験以外を含む H28: 0アイテム		【再掲】 ○四万十川漁業振興協議会補助金 【150千円】 ・種苗放流体験、川漁体験学習、アユしゃくり漁等 ○川漁体験学習等 (予定) 5月 アユ放流体験 5月 ヒラメ放流体験 7月 アユしゃくり漁体験
		【水産AP17】 (2) 体験教室等の開催	◎体験教室の開催						
			○四万十川ガキ体験 (7月) 主催: 四万十の日実行委員会 対象: 市内保育園年長児~小学生、保護者 (32名参加) 体験内容: カヌー、サップ、川舟・屋形船ろこぎ、川漁見学 ○水辺の楽校 (7月) 主催: 四万十の日実行委員会 アカメ放流体験 6匹 (下田小、竹島小、八束小学校: 35人参加) ○親子水難防止教室 主催: 渡川水系水難事故等防止連絡会 小学生と保護者50名が参加		四万十市 (農林水産課・産業建設課) 漁業協同組合 四万十の日実行委員会	◆自然や漁業への関心と資源保護に対する市民意識が向上している		○種苗放流体験 (実施主体: 四万十川漁業振興協議会) ・各漁業協同組合の種苗放流時に実施 稚アユ放流体験 ヒラメ稚魚放流体験 ○親子川漁体験 (実施主体: 四万十川中央漁業協同組合) ○四万十の日実行委員会補助金 * 【225千円】 ・四万十川ガキ体験 【180千円】 (カヌー、サップ、川舟・屋形船ろこぎ、川漁体験) ・親子川漁体験 【45千円】 (投網漁体験、鮎のつかみどり、試食)	

※主な内容: ★は新規、◎は拡充、○は継続

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成29年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算(取り組み)概要						
						水産業分野					
							<p>○親子川漁体験(8月) 主催: 四万十の日実行委員会 対象: 市内小中学生親子 (13組34名参加) 講師: 四万十川中央漁協組合 体験内容: 投網、アユつかみどり、箱メガネ、アユ炭火焼の試食 提供アユ: 合計30kg(約300匹、四万十川中央漁協組合)</p> <p>【再掲】</p> <p>○川漁体験学習等 5月 アユ放流体験(蕨岡小学校26人、四万十川中央漁協組合) 5月 ヒラメ放流体験 4,300匹 (下田小学校11人、下田漁業協同組合) 6月 コアマモ移植体験 150株(八束小学校14人、国土交通省) 7月 アユしゃくり漁体験 (大用小中学校38人、四万十川中央漁協組合)</p>				<p>【再掲】</p> <p>○川漁体験学習等(予定) 5月 アユ放流体験(小学校、四万十川中央漁協組合) 5月 ヒラメ放流体験 (小学校、下田漁業協同組合) 7月 アユしゃくり漁体験 (小中学校、四万十川中央漁協組合)</p>

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート 【平成29年度】

分野	戦略の柱		平成29年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算(取り組み)概要
	施策						
	アクションプラン						
	主要内容						
商工業分野							
1 顧客に選ばれる商工業の振興							
1. 地域資源を活かした商品開発							
	【商工AP1】 (1)今ある特産品等商品の磨き上げ	【商工AP2】 (2)魅力ある素材・アイデアの掘起し	【商工AP3】 (3)新たな特産品等の商品開発	【商工AP4】 (4)商品の販路開拓・販売促進	【商工AP5】 (5)商品開発、販路開拓の中核となる人材、組織の育成		
2. 四万十の“食”文化の磨き上げと発信							
	【商工AP6】 (1)四万十の“食”文化の磨き上げ	【商工AP7】 (2)地域を拠点とした食の発信	【商工AP8】 (3)都市圏等を拠点とした食の発信				
3. 地震防災対策における建設事業の推進							
	【商工AP9】 (1)施設の長寿命化・南海地震対策の強化による建設事業の確保						
	○施設の長寿命化・南海地震対策の強化による建設事業の確保	○施設の長寿命化・南海地震対策関連の建設事業費(平成29年度当初予算額1,526,213千円)	四万十市 (地震防災課ほか)	◆建設業を支える若年層の技術者が増加している	○施設の長寿命化・南海地震対策関連の建設事業 * 【1,115,839千円】 費(補正計上額を含む)		
	・市道(橋梁)長寿命化・避難路等整備工事 168,000千円 ・防災減災ため池整備(県営事業負担金) 4,150千円 ・八束地区防災拠点基地広場整備工事 48,000千円 ・八束保育所移転工事 173,892千円 ・郷土資料館耐震補強等改修・地盤耐震工事 187,901千円 ・緊急輸送道路等沿道建築物耐震改修助成 24,176千円 ・老朽住宅除去事業費助成 27,000千円 ・下水道汚水幹線管渠耐震化工事 35,000千円	・津波避難路災害復旧工事 9,000千円 ・八束地区防災拠点基地整備工事 110,964千円 ・八束地区防災拠点施設耐震性給水施設整備工事 4,000千円 ・大用中学校屋内運動場改築 272,023千円 ・市民スポーツセンター耐震補強工事 119,183千円 ・住宅等耐震改修助成 72,924千円 ・中央下水道管理センター耐震化工事 70,000千円 ・水道基幹管路耐震化布設替工事 200,000千円		◆施設の長寿命化・南海地震対策 H31:1強化 ◆住宅耐震化率 H26:64.1% → H31:73.5% H27:65.66% H28:66.82%	<ul style="list-style-type: none"> ・市道(橋梁)長寿命化・避難路等整備工事 106,062千円 ・津波避難路災害復旧工事 5,000千円 ・防災減災ため池整備(県営事業負担金) 5,900千円 ・避難路整備[中筋地区]工事 14,416千円 ・川崎保育所移転工事 373,436千円 ・指定避難所トイレ改修工事 3,298千円 ・市民スポーツセンター耐震補強工事 66,595千円 ・緊急輸送道路等沿道建築物耐震改修助成 33,143千円 ・住宅等耐震改修助成 106,989千円 ・老朽住宅除去事業費助成 25,000千円 ・避難所自家発電施設整備工事 93,000千円 ・耐震性貯水槽設置工事 62,000千円 ・中央下水道管理センター耐震化工事 40,000千円 ・下水道汚水幹線管渠耐震化工事 25,000千円 ・水道基幹管路耐震化布設替工事 156,000千円 		
2 中心市街地・商店街の活性化							
1. 中心市街地、商店街の魅力・賑わいづくり							
	【商工AP10】 (1)回遊性と集客力向上のための拠点づくり						
	【商工AP11】 (2)商店街の機能向上						
	○商店街活性化ワークショップ等の開催 ★商店街活性化の核となる人材の確保、育成 ○商店街空間整備 ◎情報発信機能の充実	【再掲】 ○旧土豫銀行跡地開発事業 ・公募型プロポーザルにより事業者決定 四万十にぎわい商店株式会社 ・基本設計補助 2,108千円 ・アドバイザー招聘 210千円	四万十市 (観光商工課・産業建設課・まちづくり課) 商工会議所・商工会 商店街振興組合	◆商店街通行者数(平日) H22~H26平均 4,725人/日 → H31:4,845人/日 H27:4,591人/日 H28:4,676人/日 H29:5,878人/日	【再掲:連携分野】 ○旧土豫銀行跡地開発事業 【7,423千円】 ・事業主体:四万十にぎわい商店株式会社 ・実施設計補助 7,338千円		
	【商工AP12】 (3)日常の賑わいにつながる仕組みづくり						
	○イベント開催等活性化の仕組みづくり ○個店のサービス向上	【再掲】 ○商店街活性化モデル事業(900千円) 事業主体:中村商工会議所 5月 公家行列及び地域製品の販売PRを支援	四万十市 (観光商工課・産業建設課) 商工会議所・商工会 商店街振興組合	◆商店街通行者数(平日) H22~H26平均 4,725人/日 → H31:4,845人/日	【再掲:連携分野】 ○商店街活性化モデル事業 900千円 【900千円】 (事業主体:中村商工会議所) ・公家行列及び地域製品の販売PRを支援		

分野		平成29年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算(取り組み)概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
商工業分野						
	★個性が光る店舗の集積	<p>○商店街活性化補助金 (実施主体:各商店街振興組合)</p> <p>7月 天神橋商店街土曜夜市(2回) 160千円 東下町商店街納涼祭 100千円</p> <p>8月 京町・大橋通商店街納涼祭 140千円 一条通商店街納涼祭 100千円</p> <p>○小京都ジュニア駅伝 100千円 (実施主体:小京都ジュニア駅伝大会実行委員会) 1月開催</p> <p>○チャレンジショップ事業補助金(2,734千円) (実施主体:天神橋商店街振興組合) チャレンジャー2名 10月に開業者1名</p>		<p>H27:4,591人/日 H28:4,676人/日 H29:5,878人/日</p> <p>◆商店街空き店舗対策補助 件数 H26:2件/年 → H31:5件/年 H27:4件/年 H28:0件/年 H29:3件/年</p>		<p>○商店街活性化補助金 500千円 * 【500千円】 (事業主体:各商店街振興組合) ・中心市街地活性化に資する事業(イベント(夜市)など)への支援</p> <p>○小京都ジュニア駅伝 * 【100千円】 (実施主体:小京都ジュニア駅伝大会実行委員会)</p> <p>○チャレンジショップ事業補助金 * 【2,848千円】 (事業主体:天神橋商店街振興組合) 天神橋チャレンジショップTJB</p> <p>○空き店舗対策事業補助金 * 【1,125千円】 ・空き店舗入居者に対する店舗改修費への支援</p>
	【商工AP13】 (4)空き店舗対策					
	○空き店舗情報の発信強化と マッチング機会の提供 ◎空き店舗改修等の支援	<p>○空き店舗対策事業補助金 ・空き店舗入居者に対する店舗改修費の支援 補助実績 3件 1,125千円</p>	<p>四万十市 (観光商工課・産業建設課) 商工会議所・商工会 商店街振興組合</p>	<p>◆商店街空き店舗対策補助 件数 H26:2件/年 → H31:5件/年 H27:4件/年 H28:0件/年 H29:3件/年</p>		<p>【再掲】 ○空き店舗対策事業補助金 ・空き店舗入居者に対する店舗改修費への支援</p> <p>【1,125千円】</p>
2. 創業や経営革新への支援強化						
	【商工AP14】 (1)経営指導などサポート体制の強化					
	★経営指導などサポート体制の強化	<p>○中小企業振興資金貸付金 4月 四国銀行、高知銀行、愛媛銀行、幡多信用金庫 高知信用金庫の5行に2,500万円貸付</p> <p>3月 各金融機関から返済 貸付実績の検証</p> <p>○商工業者経営改善普及事業 (事業主体:中村商工会議所、西土佐商工会) 商工会議所、商工会で策定された「経営発達支援計画」、市が策定した「創業支援計画」(計画期間H27~H29)に基づき、市、商工会議所、商工会、金融機関等関係機関が連携し、経営についてトータルサポート及びワンストップ窓口化</p>	<p>四万十市 (観光商工課・産業建設課) 商工会議所・商工会</p>	<p>◆創業に関する相談件数 H26:8件/年 → H31:45件/年 H27:38件/年 H28:37件/年 H29:18件/年</p>		<p>○商工業者経営改善普及事業 (事業主体:中村商工会議所、西土佐商工会) ・商工会議所、商工会で策定された「経営発達支援計画」、市が策定した「創業支援計画」に基づき、市、商工会議所、商工会、金融機関等関係機関が連携し、経営についてトータルサポート及びワンストップ窓口化</p> <p>○中小企業振興資金保証料補給 1,010千円 * 【1,010千円】 * H30年度より制度見直しを行う 貸付金を廃止し、金融機関の自己資金での貸付とする。 市が負担する保証料率を上げることで利用実績の増加を図る。</p>
	【商工AP15】 (2)創業や経営革新に意欲ある事業者(人材)の育成、スキルアップ					
	○事業者の育成、スキルアップ	<p>【再掲】 ○地域の頑張る人づくり事業補助金 (事業主体:四万十市地域商品研究会) ・補助金交付決定額 419千円 ・研修期間:10月~1月(4回) ・研修テーマ:持続的な事業を展開・発展させる人材を育成</p> <p>10月 人材を集めるための自社PRの方法 10月 ビジネスリーダーの育成 11月 組織を発展させるマネジメント 1月 強い組織を創る仕組みづくり</p>	<p>四万十市 (観光商工課・産業建設課) 商工会議所・商工会</p>	<p>◆創業に関する相談件数 H26:8件/年 → H31:45件/年 H27:38件/年 H28:37件/年 H29:18件/年</p>		<p>【再掲】 ○商工業者経営改善普及事業 (事業主体:中村商工会議所、西土佐商工会) ・商工会議所、商工会で策定された「経営発達支援計画」、市が策定した「創業支援計画」に基づき、市、商工会議所、商工会、金融機関等関係機関が連携し、経営についてトータルサポート及びワンストップ窓口化</p>

分野		平成29年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算(取り組み)概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン 主な内容						
商工業分野		<p>【再掲】</p> <p>○チャレンジショップ事業補助金 (2,734千円) (実施主体:天神橋商店街振興組合) チャレンジャー2名 10月に開業者1名</p> <p>○四万十市地域商品研究会 毎月勉強会等を開催し事業者のスキルアップを行う 会員等:13事業所</p> <p>【再掲】</p> <p>○地域の頑張る人づくり事業補助金 (事業主体:四万十市地域商品研究会) ・研修期間:10月~1月(4回) ・研修テーマ:持続的な事業を展開・発展させる人材を育成 10月 人材を集めるための自社PRの方法 10月 ビジネスリーダーの育成 11月 組織を発展させるマネージメント 1月 強い組織を創る仕組みづくり</p>				<p>【再掲】</p> <p>○チャレンジショップ事業補助金 【2,848千円】 (事業主体:天神橋商店街振興組合) 天神橋チャレンジショップTJB</p> <p>【再掲】</p> <p>○空き店舗対策事業補助金 【1,125千円】 ・空き店舗入居者に対する店舗改修費への支援 ○県、商工関連団体などが開催する各種スキルアップ研修会等への参加促進</p>
3 中山間地域の商業機能の確保						
1. 小さな(田舎)ビジネスの推進						
<p>【商工AP16】 (1)集落、小グループが取り組むコミュニティビジネス等の発掘、育成</p> <p>【商工AP17】 (2)地域の人、もの、コトの発信</p> <p>【商工AP18】 (3)ビジネスの拠点づくり</p>						
4 企業誘致						
1. 情報通信関連産業の誘致促進						
【商工AP19】 (1)誘致に向けたリサーチの徹底						
★誘致にかかるリサーチ	<p>○企業誘致対策 5月 誘致企業訪問(東京) 7月 立地企業交流会(高知市)</p>	四万十市 (観光商工課)	◆シェアオフィスへの誘致企業数 H31:2社 H27:1社 H28:1社		○企業誘致対策 ・県と連携した誘致企業の情報収集、アプローチ * 【155千円】 誘致企業訪問旅費(東京、徳島)	
【商工AP20】 (2)誘致活動の推進						
◎特色ある誘致情報の発信 ★支援メニューの創設・受入体制づくり ◎県と連動した誘致活動の推進	<p>【再掲】</p> <p>○企業誘致対策 5月 誘致企業訪問(東京) 7月 立地企業交流会(高知市)</p> <p>○コールセンター等立地促進事業費補助金 ・補助金交付決定額 9,900千円(リース補助) 雇用奨励金該当なし</p>	四万十市 (観光商工課・農林水産課)	<p>◆シェアオフィスへの誘致企業数 H31:2社 H27:1社 H28:1社</p> <p>◆既誘致企業での雇用者数 H31:20名増 H27:20名(20名増/年) H28:22名(2名増/年)</p> <p>◆次世代施設園芸等への誘致企業数 H31:1社 H27:1社 H28:1社</p>		<p>【再掲】</p> <p>○企業誘致対策 【155千円】 ・県と連携した誘致企業の情報収集、アプローチ</p> <p>○コールセンター等立地促進事業費補助金 * 【1,500千円】 ・誘致企業(:HTC四万十センター)への支援 雇用奨励金(2名分) 1,500千円</p>	

分野		平成29年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算(取り組み)概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン 主な内容						
商工業分野						
	【商工AP21】 (3)遊休施設等を活用したシェア オフィス等の整備					
	★シェアオフィス等の整備	【再掲】 ○企業誘致対策 5月 誘致企業訪問 (東京) 7月 立地企業交流会 (高知市)	四万十市 (観光商工課)	◆シェアオフィスへの誘致 企業数 H31: 2社 H27: 1社 H28: 1社		○市内の遊休公共施設等についてシェアオフィスの 立地可能性調査を実施 【再掲】 ○企業誘致対策 ・シェアオフィス整備箇所の絞込み 当市でサテライトオフィス拡充計画のある企業 との協議

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成29年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算(取り組み)概要
観光分野					
1 滞在型の観光地づくり					
1. 地域の観光資源、フィールドを活かした滞在型の観光商品づくり					
【観光AP1】 (1) 観光リサーチの徹底	【観光AP2】 (2) 今ある観光商品の磨き上げ	【観光AP3】 (3) 新たな観光商品づくり	【観光AP4】 (4) 食の魅力を活かした観光振興		
2. 広域連携による周遊観光の推進					
【観光AP5】 (1) 広域連携による周遊観光の推進					
2 観光商品の外商の推進					
1. 観光商品のセールス及び情報発信の強化					
【観光AP6】 (1) 観光商品のセールス強化	【観光AP7】 (2) 広報・プロモーションの強化				
3 おもてなしの向上					
1. おもてなし環境の整備					
【観光AP8】 (1) 四万十川流域観光の拠点施設の整備、機能強化					
◎拠点施設の拡充、機能強化	<p>○観光拠点施設整備事業 地方創生拠点整備交付金を活用</p> <p>4月 設計・監理委託入札 ・かわらっこバンガローサイト設計・監理委託 1,382千円 10月～2月 かわらっこバンガローサイト整備(4棟新設) 3月 完了検査</p> <p>○入田ヤナギ林整備 5月 上半期実施 9月 下半期実施 【再掲】</p> <p>○四万十流域サイクルロード整備プロジェクト 企業版ふるさと納税事業を活用</p> <p>4月～ 伐採した木の撤去 8月～ 路面の補修 11月～ 路面の補修 1月～ 景観を阻害する雑木の伐採等 【再掲】</p> <p>○志国高知幕末維新博での取り組み(H29.3開幕)</p> <p>4月～ 市内循環(しまんとトロリー)バス・川バスの増便 観光ガイドブック作成(日本語)※幕末維新博関係 7月 観光ガイド養成講座講師との打ち合わせ 9月 玉姫様の通行手形リニューアル 10月～ 観光ガイド養成講座開催(3回) 2月～ 為松公園案内看板設置 観光ガイドブック作成(日本語)※幕末維新博関係</p>	四万十市(観光商工課) 観光協会	◆公共観光施設等利用者数 H26:172,370人 → H31:180,000人 H27:189,788人 H28:185,492人		<p>○四万十いやしの里管理運営 * 【5,196千円】 ・施設等修繕ほか</p> <p>○四万十川学遊館管理運営 * 【20,307千円】 ・学遊館玄関前池他修繕 ・管理運営</p> <p>○かわらっこ管理運営 * 【556千円】 ・施設等修繕ほか</p> <p>○四万十楽舎管理運営 * 【2,592千円】 ・管理運営等</p> <p>○ホテル星羅四万十管理運営 * 【6,222千円】 ・施設修繕等【2,791千円】 ・備品購入費【1,516千円】 ・天体観測所施設運営【1,572千円】</p> <p>○カヌー館関連施設等管理運営 * 【7,175千円】 ・カヌー館、四万十ひろば(農村公園)、ふるさと案内所等</p> <p>○キャンプ場ほか観光公衆トイレ管理運営 * 【7,070千円】 (観光シーズン仮設トイレ設置を含む)</p> <p>○四万十パーク管理 * 【3,093千円】 ・植栽管理ほか</p> <p>○岩間四万十茶屋維持管理補助金 * 【110千円】</p> <p>○入田ヤナギ林整備 * 【4,379千円】 上期・下期にわけず一括契約を締結 【再掲：連携分野】</p> <p>○四万十流域サイクルロード整備プロジェクト 【10,000千円】 地方創生企業版ふるさと納税事業を活用 ・サイクルロード整備【10,000千円】 実施箇所：四万十川佐田沈下橋右岸から 三里沈下橋右岸の市道 内容：サイクルロードの路面整備や景観を 阻害する樹木の伐採等</p>

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主な内容	平成29年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算(取り組み)概要
観光分野					
【観光AP9】 (2) 二次交通の充実					
○二次交通の運行形態の見直し・拡充と情報発信	○四万十川バス運行 4～9月 79日運行(中村駅⇄沈下橋⇄江川崎駅) 土・日・祝日及びGW、夏休み(7/22～8/31の全期間)、春休み(3/24～3/31の全期間)※H28年度から運行日数を増とした。 ※H27⇒43日運行、H28⇒185日運行 10～3月 77日運行予定(中村駅⇄沈下橋⇄江川崎駅) 土・日・祝日及びGW、夏休み(7/22～8/31の全期間)、春休み(3/24～3/31の全期間)※H28年度から運行日数を増とした。 ○歴史観光周遊バスの運行 4～9月 89日運行(中村市街地⇄佐田沈下橋) 10～3月 67日運行(中村市街地⇄佐田沈下橋) ○しまんと・あしずり号 GW、夏休み、土日祝日等の222日間運行 (四万十市→土佐清水市→大月町→宿毛市→四万十市) ○おもてなしタクシーの運行(通年) 随時運行 ○レンタサイクル(通年) 随時貸し出し	四万十市(観光商工課) 観光協会 幡多広域観光協議会	◆二次交通利用者数 H26:5,718人 → H31:10,000人 H27:5,896人 H28:6,311人		○四万十川バス運行(歴史観光資源等強化) * 【5,353千円】 ・中村駅～江川崎駅間 GW、夏休み、春休み、土日祝日の135日間(1日2便)運行 ※12、1、2月は運行しない。 ○歴史観光周遊バスの運行(歴史観光資源等強化) * 【6,682千円】 市街地及び郷土資料館、周辺観光地を結ぶ周遊バス(1日7便) ○周遊観光バスしまんと・あしずり号運行(県事業) * 【1,500千円】 GW、夏休み、土日祝日等の運行 (四万十市→土佐清水市→大月町→宿毛市→四万十市) ○おもてなしタクシーの運行(通年) — ○レンタサイクル(通年) —
【観光AP10】 (3) 周遊しやすい環境の整備					
★観光案内機能の充実 ○コーディネート機能の向上 【再掲】 ★一元的な情報発信の促進	【再掲】 ○川降りマップ作成(西土佐地域) 8月 日本語版10,000部 英語版 5,000部 【再掲】 ○志国高知幕末維新博での取り組み 2月～ 為松公園案内看板設置 観光ガイドブック作成(多言語対応)※幕末維新博関係 ○四万十市観光振興・地域活性化事業 ・ANA総合研究所から1名招致(H25～継続) 4月～ 体験メニュー等のコーディネート(まち歩き等) 4月～ 星羅四万十リニューアルに係る協議 6月～ 食文化の磨き上げ研究会 9月～ 新たな仕組みづくり(行政女子プロジェクトチーム、エコバック等) 【再掲】 ○シティプロモーション推進事業 地方創生推進交付金を活用 4月 シティプロモーションプレスリリース リピーターバッジの配布開始 プロモーションツール活用開始 (ポスター、封筒、マグネットサイン、バナースタンド) 5月～ プロモーションツール作成のためのワークショップ開始	四万十市 (観光商工課・企画広報課) 観光協会 幡多広域観光協議会	◆周遊しやすい環境づくりが進み観光誘客につながっている ◆外国人観光入込客数 H26:1,341人 → H31:5,000人 H27:1,971人 H28:3,633人		【再掲：連携分野】 ○観光客誘致宣伝活動 【4,490千円】 地方創生企業版ふるさと納税事業を活用 ・四万十市観光ガイドブック等作成【3,585千円】 ○地域おこし企業人交流プログラム * 【8,000千円】 ・ANA総合研究所から1名招致(H25～継続) 体験メニュー等のコーディネート 情報発信 おもてなし向上「接客研修」開催 ほか 【再掲：連携分野】 ○シティプロモーション推進事業 【3,222千円】 地方創生推進交付金を活用 ・ワークショップの開催、プロモーション展開 ・プロモーションツールの作成 【再掲：連携分野】 ○土佐の小京都中村550年祭の取り組み(H30.3開幕) 土佐の小京都中村550年祭補助金 【13,757千円】 (事業主体：土佐の小京都中村550年祭実行委員会) ・小京都中村をはじめ郷土の歴史を知るウェブサイト制作【事業費：4,046千円】 市民をはじめ観光客がスマートフォンを使ってまち歩きや地域めぐりができるようなサイトを作成し、地域の歴史・文化にまつわるコンテンツをつなぐルートを設定し配信

分野		平成29年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算(取り組み)概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
観光分野						
		6月 市ロゴマーク活用周知(市ホームページ、市広報) 市ホームページにプロモーションページ追加 市プロモーションビデオ製作開始 11月 日本パッケージデザイン協会全国会議 (川から学べJPDAしまんと100人デザイン会議) 1月 ログ入りクリアファイル作成(新成人に配布) 2月 しまんとエコバック販売開始 3月 市プロモーションビデオ完成、セロハンテープ・クラフトテープ作成				【再掲：連携分野】 ○市町村データベース「さとむすび」運営委託料 これまで個別に管理し、それぞれ発信していた情報を集約し、データベース化することで一元管理する。集約した情報は「さとむすび」サイトからまとめて発信が可能 【1,026千円】
2. おもてなしサービスの充実						
【観光AP11】 (1) 観光地としての市民意識の醸成と浸透						
★市民の参画意識の醸成		【再掲】 ○四万十市観光振興・地域活性化事業 ・ANA総合研究所から1名招致(H25～継続) 4月～ 体験メニュー等のコーディネート(まち歩き等) 4月～ 星羅四万十リニューアルに係る協議 6月～ 食文化の磨き上げ研究会 9月～ 新たな仕組みづくり(行政女子プロジェクトチーム、エコバック等) 【再掲】 ○土佐の小京都中村550年祭の取組み(H30.3開幕) (実施主体:土佐の小京都中村550年祭実行委員会) 10月 第一回実行委員会 2月 第二回実行委員会 知事表敬訪問(開幕PR) 3月 オープニングセレモニー 一條神社での一條家への感謝と550年祭の成功祈願 観光開きと併せて550年祭記念行事の広報 郷土資料会館の部分開放(1階と6階展望室)	四万十市(観光商工課) 観光協会	◆観光地であることを広く市民が認識し、おもてなし意識と地域の魅力を伝えられる市民が増えている	【再掲】 ○地域おこし企業人交流プログラム ・ANA総合研究所から1名招致(H25～継続) 体験メニュー等のコーディネート 情報発信 おもてなし向上「接客研修」開催 ほか 【再掲】 ○土佐の小京都中村550年祭の取組み(H30.3開幕) 土佐の小京都中村550年祭補助金 (事業主体:土佐の小京都中村550年祭実行委員会) 550年祭を市民があらためて故郷への愛着を深める契機とし、「郷土の歴史・文化の伝承」はもとより「小京都のまちなか再生」や「中心市街地の賑わいづくり」への市民参画を促進し、主体的かつ具体的な取組に繋げる 【8,000千円】 【13,757千円】	
【観光AP12】 (2) リピーター確保に向けた取り組み(特典の充実)						
◎おもてなし感が感じられる仕組みづくり		【再掲】 ○食の魅力を活かした地域振興事業 (実施主体:四万十市食文化磨き上げ研究会) 地方創生推進交付金を活用 6月～ 食文化の磨き上げ研究会の開催(8回) 食文化掘り起こし、郷土料理レシピ研究、食の冊子づくり 3月 モニター事業の実施(ANA)	四万十市(観光商工課) 観光協会 四万十市観光振興連絡会議 西土佐観光推進協議会 四万十市体験型観光受入研究会	◆商工業分野等との連携による多様な仕組み、サービスが生まれている	【再掲：連携分野】 ○食の魅力を活かした地域振興事業 地方創生推進交付金を活用 ・「四万十の食研究会」における活動の継続 地域の食に関する研究会のこれまでの取り組みの仕上げとして、おいしい四万十の食についての発信冊子(伝承レシピ、食材、食の体験等)を作成 【1,013千円】	
4 組織力の強化と観光リーダーの発掘・育成						
1. 観光関連事業者のスキルアップ						
【観光AP13】 (1) 観光関連組織の役割分担と組織力の強化						
○役割分担の明確化とスキル・組織力の強化 ★コーディネーターの育成		○観光案内所運営(観光協会) ・観光協会観光案内所、臨時観光案内所での観光動向 4月～ 観光案内所(観光協会)窓口での観光客アンケート 5、8月 観光動向アンケート調査(沈下橋など)	四万十市(観光商工課) 観光協会 幡多広域観光協議会	◆観光人材・組織のスキル(商品企画、営業力等)が向上し、「待ちの誘客」から「動く誘客」にシフトしている	○観光案内所運営補助金 (事業主体:四万十市観光協会) ・観光協会観光案内所、臨時観光案内所での観光動向(観光案内所運営に要する補助金を含む) * 7,200千円	

※主な内容:★は新規、◎は拡充、○は継続

分野		平成29年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成30年度当初予算(取り組み)概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
観光分野		○幡多広域観光協議会 4月 協議会開催(事業計画など) 6月 協議会理事会 2月 幡多広域観光協議会市町村観光主管課室長会				【再掲：連携分野】 ○幡多広域観光協議会負担金 【8,598千円】 ・外部研修会参加による職員のスキルアップ
【観光AP14】 (2)異業種との交流・連携の促進						
【再掲】 ★異業種交流会の開催			四万十市(観光商工課) 観光協会	◆商工業分野等との連携による多様な仕組み、サービスが生まれている		
2. 観光人材の育成、確保						
【観光AP15】 (1)地域の観光リーダーの育成						
★地域のキーマンの発掘、育成		○四万十市体験型観光受入研究会 4月 県アドバイザー研修 入田、後川地区：10人 蕨岡、富山地区：17人 8月 受入家庭意見交換会 21人参加 10月 アドバイザー研修 体験プログラムの磨き上げ(ナビチャリ) 6人参加 インストラクター研修(安全講習) 9人参加	四万十市 (観光商工課・関係課) 観光協会 幡多広域観光協議会 四万十市体験型 観光受入研究会	◆地域で核となる観光人材が育成されている ◆体験型観光受入研究会加入団体数 H26:23団体 → H31:30団体 H27:23団体 H28:23団体		【再掲：連携分野】 ○地域おこし協力隊経費 (6名) 【22,385千円】 ・地域振興 (中村地域) 富山地区、大川筋・後川地区 (西土佐地域) 須崎・大宮地区、奥屋内地区、半家地区 ・農業振興(西土佐地域) 【再掲：連携分野】 ○四万十市体験型観光受入研究会 ・体験プログラム等の磨き上げ、開発、家庭募集、研修ほか 【再掲】 ○幡多広域観光協議会負担金 【8,598千円】 ・体験事業者、田舎暮らし体験受入家庭を対象とした研修会の開催
【観光AP16】 (2)体験インストラクター、ガイドの育成						
○インストラクター、ガイドの育成		【再掲】 ○四万十市観光振興・地域活性化事業 ・ANA総合研究所から1名招致(H25～継続) ・おもてなし向上「接客研修」開催 4月:3回、22人 5月:1回、60人 6月:1回、36人 7月:2回、74人 8月:2回、70人 9月:3回、65人 10月:1回、15人 11月:1回、40人 12月:2回、44人 1月:— 2月:3回、132人 3月:3回、61人(見込み) ○四万十市体験型観光受入研究会 田舎暮らし体験後の反省会(随時)など 【再掲】 ○志国高知幕末維新博に向けた取り組み(H29.3開幕) ・観光クラスターガイド養成のため講師と打ち合せ 10月～ 観光ガイド養成講座開催(3回)など 【再掲】 ○幡多広域観光協議会 4月～3月 田舎暮らし、カヌー体験ほか受入	四万十市(観光商工課) 観光協会 幡多広域観光協議会 四万十市体験型 観光受入研究会	◆観光人材の育成、レベルアップが図られている		【再掲】 ○地域おこし企業人交流プログラム 【8,000千円】 ・ANA総合研究所から1名招致(H25～継続) 体験メニュー等のコーディネート 情報発信 おもてなし向上「接客研修」開催 ほか 【再掲】 ○四万十市体験型観光受入研究会 ・体験プログラム等の磨き上げ、開発、家庭募集、研修ほか 【再掲】 ○幡多広域観光協議会負担金 【8,598千円】 ・体験事業者、田舎暮らし体験受入家庭を対象とした研修会の開催
【観光AP17】 (3)将来の担い手の発掘・育成						
★ボランティアの受け入れ ★インターンシップの受け入れ			四万十市(観光商工課) 観光協会	◆観光の担い手確保につながっている		○観光拠点施設等と連携した受け入れ推進